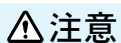
このたびはミニカをお買い上げいただき
ありがとうございます。

JA12AQV

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですのでしっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠警告	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと死亡や重大な傷害につながるおそれがあります。
⚠注意	安全のために必ず守っていただきたいこと。 守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。
	安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示しています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 知っておくと便利なこと。

● グレードにより異なる装備やオプション装備には タイプ別装備 と表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● AM/FM 電子同調ラジオの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

- 装備仕様の変更などにより本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は担当営業スタッフにお問い合わせください。

1. 絵で見る目次

2. 安全なドライブのために

3. 各部の開閉

4. シート・シートベルト・チャイルドシート・SRS エアバッグ

5. メーター・スイッチ

6. 運転装置

7. 室内装備

8. エアコン

9. オーディオ

10. 簡単な整備・車のお手入れ

11. 寒冷時の取り扱い

12. もしものときの処置

13. サービスデータ

14. さくいん

絵で見る目次

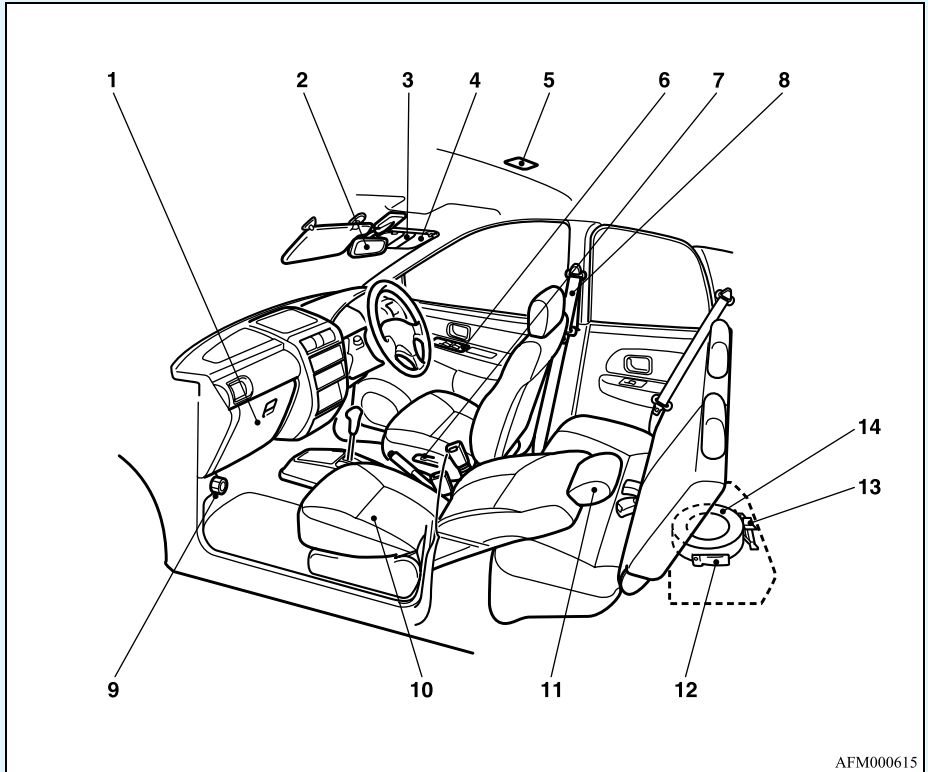
計器盤まわり

JB21AQUb

1 - 助手席 SRS エアバッグ P.4-22
2 - リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ P.5-14
3 - 非常点滅灯スイッチ P.5-14
4 - メーター・表示灯・警告灯 P.5-2，5-5
5 - フロントワイパー・ウォッシャースイッチ P.5-11
リヤワイパー・ウォッシャースイッチ P.5-12
6 - ライトスイッチ P.5-8
方向指示レバー P.5-11
7 - エアコン P.8-3
8 - ラジオ・オーディオ P.9-1
時計 P.7-5
9 - シガレットライター P.7-3
10 - 灰皿 P.7-2
11 - シフトレバー（マニュアル車）P.6-6
セレクターレバー（オートマチック車）P.6-7
12 - 駐車ブレーキ P.6-14
13 - エンジンフードレバー P.3-9
14 - エンジンスイッチ P.6-2
15 - ドアミラー調整スイッチ P.6-16
16 - シートヒータースイッチ P.4-4
17 - ヘッドライトレベリングダイヤル P.5-10
18 - 運転席 SRS エアバッグ P.4-22
ホーンスイッチ P.5-15

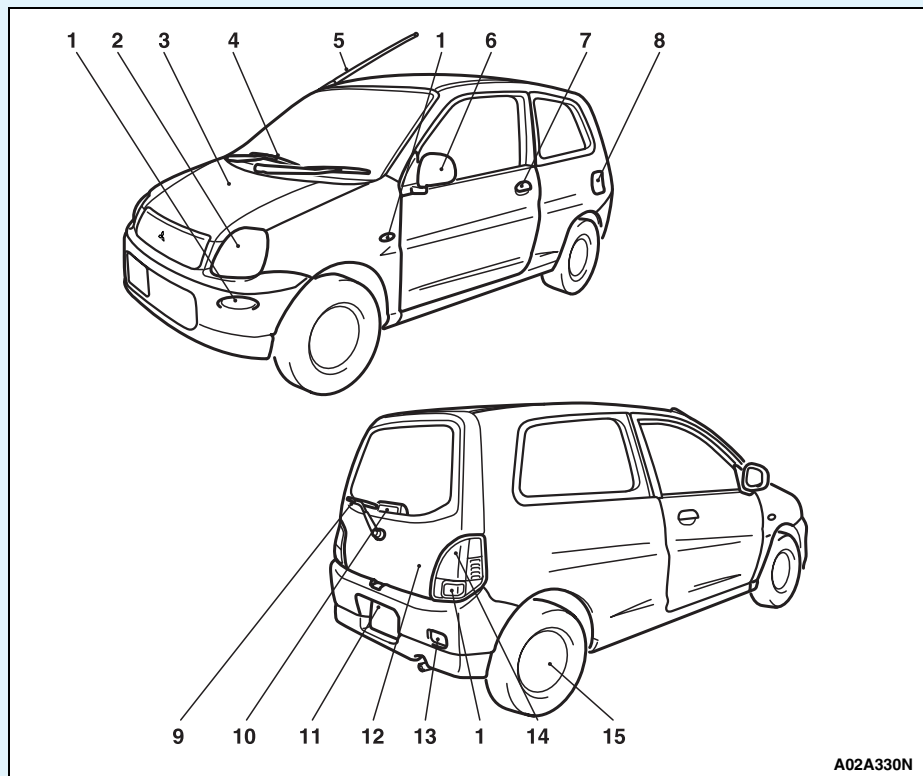
- 装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

室内

JB21BQUc

AFM000615

- 装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

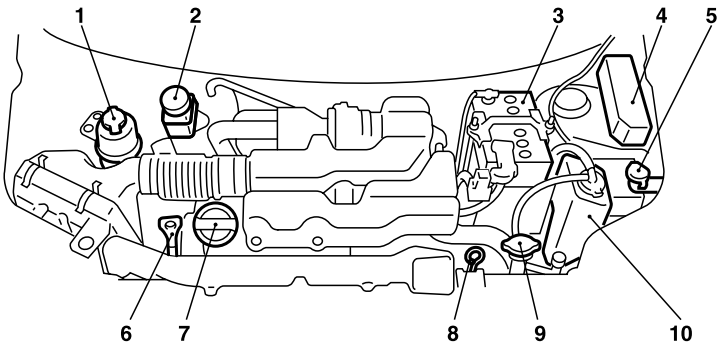
外まわり

JB21DQUc

A02A330N

- 装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

エンジンルーム

JB21FQUd

1 2 3 4 5
6 7 8 9 10

Q02A409N

1 - パワーステアリングオイルタンク
2 - ブレーキ液タンク
3 - バッテリー P.12-16
4 - ヒューズボックス
5 - フロント，リヤウォッシャータンク P.10-3
6 - エンジンオイルレベルゲージ
7 - エンジンオイル注入キャップ
8 - オートマチックトランスミッションオイルレベルゲージ（オートマチック車）
9 - ラジエーターキャップ P.12-19
10 - コンデンスタンク（冷却水）

安全なドライブのために

安全なドライブのために

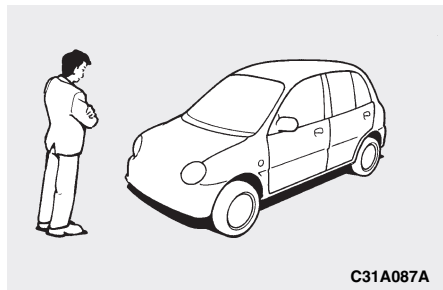
出発前は

JC31A-Dg

日常点検は適切な時期に行って

C31A087A

アドバイス

- 日常点検はお客さま自身が長距離を走行するときや，洗車，給油をするときなどに行う点検です。事故や故障を未然に防ぐために必ず行ってください。
- 日常点検の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

エンジンルームを点検するときは

⚠警告

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- エンジンルーム内の金属部品には高温になるものがあります。やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。

アドバイス

- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

燃料の入った容器やスプレー缶類は車の中に持ち込まない

C31A077A

⚠警告

- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に入れたままにしておくと，容器が破裂したり，蒸発ガスに引火爆発するおそれがあります。

シートベルトは必ず着用

C31A078A

⚠警告

- シートベルトの正しい装着方法は「シートベルト」の項をお読みください。
→ P.4-8
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

窓越しにエンジンをかけない

⚠注意

- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れ，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。
オートマチック車はセレクターレバーがⓅの位置にあることを確認します。
いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルは右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
→「エンジンをかける前に」P.6-3
窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

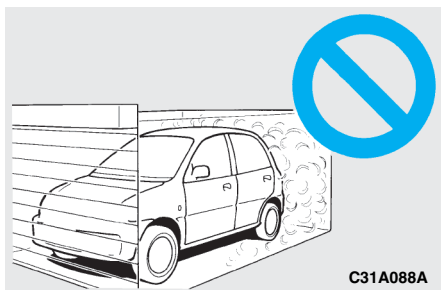
アドバイス

- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

クラッチスタートシステムとは・・・
誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

2

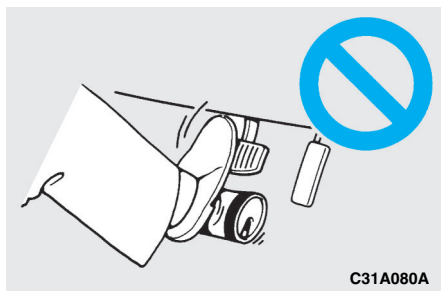
周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

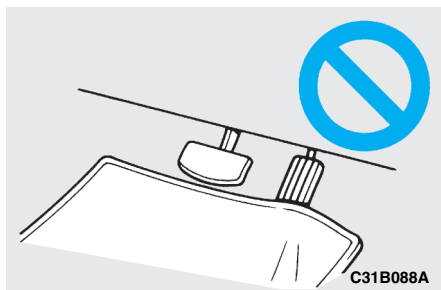
C31A088A

⚠警告

- 排気ガスにより，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ない場合は換気を十分してください。

運転席の足元付近を点検

C31A080A

⚠警告

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むとブレーキの操作ができなくなるおそれがあります。

C31B088A

⚠警告

- フロアマットはペダルに引っかからないよう，車に合ったものを正しく敷いてください。また，ずれないよう車両側のカーペットに付いているクリップなどで確実に固定してください。ペダルをおおったり，重ねて敷くとペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

⚠注意

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，アルコール系燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む水分除去剤）を使用しないでください。
排気ガス浄化装置や噴射装置が損傷するおそれがあります。
→「サービスデータ」P.13-1

荷物を積むときは

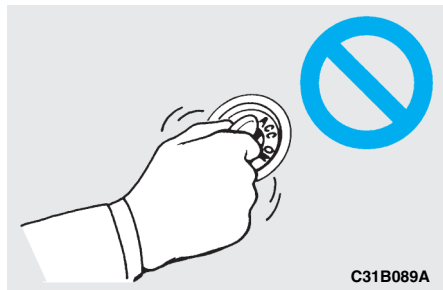
⚠注意

- 荷物は必ず指定積載重量（2人乗車時：200kg, 4人乗車時：100kg）までにしてください。（バン）
- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのときに車の揺れが大きくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物は，できるだけ前の方に積んでください。後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は，荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

走行するときは

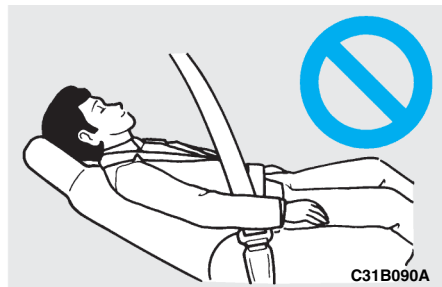
JC31BAD

走行中はエンジンを止めない

C31B089A

⚠注意

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったりハンドルが非常に重くなります。
- キーを抜くとハンドルがロックされ，ハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

走行中に同乗者はシートを倒して寝ころばない

C31B090A

⚠警告

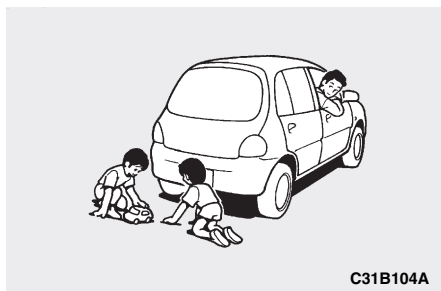
- 寝ころんでいると急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

⚠警告

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

発進するときは

C31B104A

⚠注意

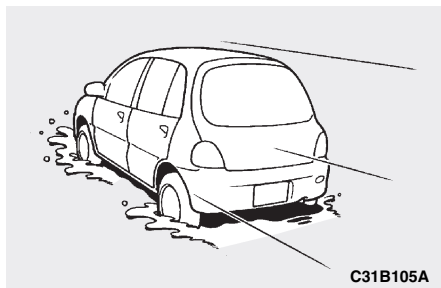
- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

⚠注意

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

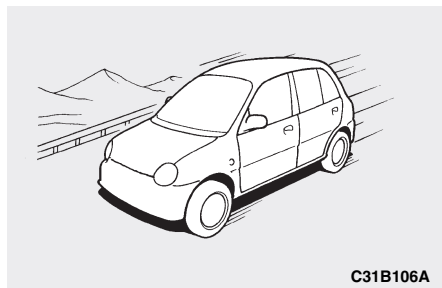
雨天時や水たまり走行時の注意

C31B105A

⚠注意

- 雨天時やぬれた道路では速度をひかえめに運転し，急ブレーキや急ハンドルを避けてください。とくに雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキの効きが悪いときは，前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキのしめりを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行するとハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないとスリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは・・・
　水のたまっている道路を高速で走行するとき，ある速度以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

C31B106A

⚠警告

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキとは・・・
　走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。

ベーパロックとは・・・
　ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは・・・
ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルを フットレストがわりにしない

⚠注意

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

⚠注意

- スタックしたときはタイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により思わぬ事故につながるおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

アドバイス

- 強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
- ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。
  漏れや損傷などが見つかった場合は，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

警告灯が点灯（点滅）したときは

⚠注意

- 警告灯が点灯（点滅）したときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
  →「走行中に警告灯が点灯，または点滅したときは！」 P.12-2，12-3
  点灯したまま走行すると思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

ラジエーターが熱いときは

⚠警告

- ラジエーターが熱いときはラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

⚠警告

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

アドバイス

● つぎのようなときはパンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

⚠注意

● エンジンがかかっていないとブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

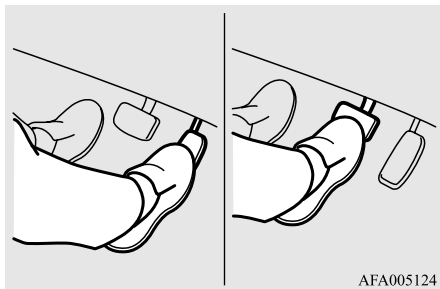
クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

アドバイス

● クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間，半クラッチ操作を行わないでください。
クラッチが早く摩耗したり，過熱し思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の取り扱い

JC31C-K

エンジン始動前

AFA005124

⚠注意

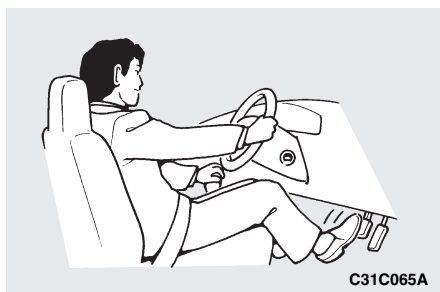
- アクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。

C31C064A

⚠注意

- セレクターレバーが Ⓟ の位置にあることを確認します。
- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合は，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。

→「エンジンのかけ方」P.6-4

エンジン始動後

C31C065A

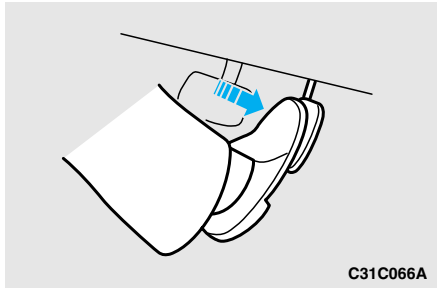
⚠注意

- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバーを操作します。
  エンジン始動直後やエアコン作動時などはエンジンの回転が上がり，クリープ現象が強くなりますので，ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- Ⓡ にするとブザーが鳴ります。ブザーは車の外には聞こえませんのでご注意ください。

クリープ現象とは・・・

セレクターレバーを Ⓟ，Ⓝ 以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

発 進

C31C066A

⚠警告

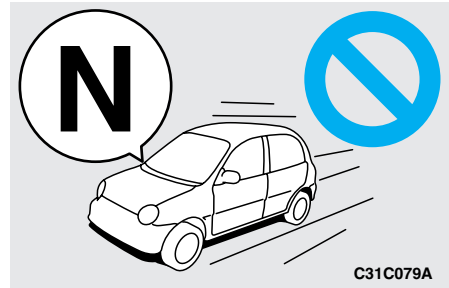
● 発進するときはアクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバーを操作しないでください。急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

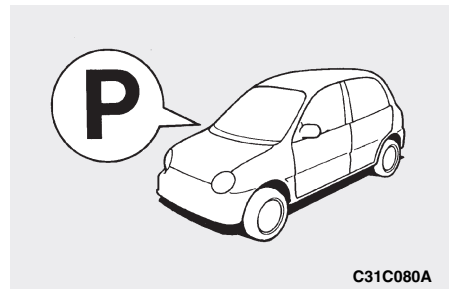
● 発進するときはブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

走行中

C31C079A

⚠警告

● 走行中はセレクターレバーを絶対にⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり重大な事故につながるおそれがあります。

駐 車

C31C080A

⚠注意

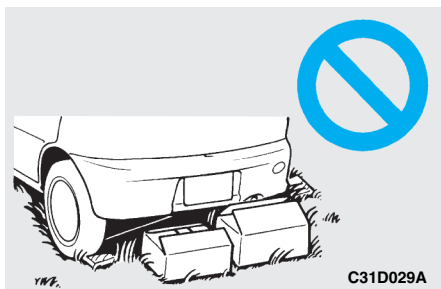
● 駐車するときはブレーキペダルを踏んだままセレクターレバーをⓅの位置にしてください。

アドバイス

● セレクターレバーをⓅにしないとエンジンスイッチからキーが抜けません。

駐停車するときは JC31D-H

燃えやすいものの近くには車を止めない

C31D029A

⚠警告

- 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。走行後の排気管は高温になっているため火災になるおそれがあります。

アドバイス

- 長時間のアイドリングは避けてください。
  長く停車する場合はエンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に排気ガスには有毒な成分が含まれており，周辺への迷惑となります。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

C31D025A

⚠警告

- 排ガスにより，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルを踏み込むと，不用意な発進など重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けると，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により火災事故が発生するおそれがあります。

坂道駐車は駐車ブレーキをいっぱいにかけ，シフトレバーを入れて輪止めを

⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡（オートマチック車は🅟）に入れてください。
  さらに輪止めをすると効果があります。輪止めは，三菱自動車販売会社でお求めください。
- 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまを乗せるときは

JC31EQUa

お子さまはリヤシートに座らせる

⚠警告

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- 助手席 SRS エアバッグ付き車は，お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

⚠警告

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに腕だけでは十分に支えることができずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

G28G142Z

- リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
→ P.4-15
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席 SRS エアバッグ付き車は，乳児用シート（ベビーシート）を助手席に取り付けないでください。助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

G28G361Z

お子さまの安全のために

お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

● チャイルドシート固定機構付シートベルト

タイプ別装備

シートベルトを全部引き出すと，引き出し方向にベルトが動かない状態となってチャイルドシートを固定することができます。

→ P.4-18

● パワーウインドウ

タイプ別装備

- セーフティー機構
  万一，お子さまが手や首などをはさんだ場合は，自動的にドアガラスが少し下がります。

→ P.3-8

- ロックスイッチ
  ロックスイッチを ON にすると，助手席，後席のスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。

→ P.3-6

● チャイルドプロテクション

5 ドア車

ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。

→ P.3-6

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

⚠警告

- 手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないようパワーウインドウはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

⚠警告

- 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキ時に重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせない

⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AFA005355

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

C31E032A

⚠警告

- お子さまだけを車内に残さないでください。炎天下の車内は高温となり熱中症になるおそれがあります。
- キーを差したままだとパワーウインドウなど電装品の誤操作，車の発進，火災など，お子さまのいたずらにより重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまを荷室で遊ばせない

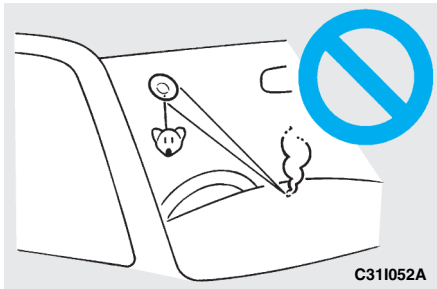
⚠警告

- 荷室は人が乗る構造になっていないので，お子さまを乗せないでください。
  万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

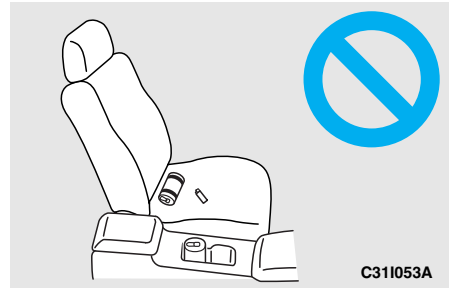
こんなことにも注意 JC31IAJ

アクセサリー取り付け時の注意

C31I052A

⚠注意

- ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置いたりしないでください。運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など思わぬ事故の原因となります。
- 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
  吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

車内にライターや炭酸飲料缶，メガネなどを放置しない

C31I053A

⚠注意

- 強い直射日光にさらされた場合には，車内が高温となるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。
  また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

⚠注意

- マッチ，タバコの火を確実に消し，必ずフタを閉めておいてください。火災になるおそれがあります。

エンジンをかけたまま ジャッキアップしない

⚠警告

- エンジンをかけたままジャッキアップすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

タイヤ・ホイールは指定サイズを使用

⚠注意

- タイヤ・ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。
  →「タイヤとホイールのサイズ」P.13-7
- 4WD車は4つのタイヤに駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および磨耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や磨耗度合の異なるタイヤを使用すると駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉するため使えない場合があります。お手持ちのものを使われるときは三菱自動車販売会社へご相談ください。

違法改造はしない

⚠注意

- 法令で認められている改造以外は行わないでください。
  また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生する場合があります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

電装品や無線機などの注意

⚠注意

- 電装品や無線機などの取り付け方法が適切でない場合は，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
  電装品や無線機などを取り付けるときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

アドバイス

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音がでることがあります。
  この場合は，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- パソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。

三菱自動車販売会社で点検を受けて

注意

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，事故につながるおそれがあります。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

安全運転のために

注意

- 安全のため，運転中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。また，CD プレーヤーやカセットプレーヤー，カーナビゲーションなどの操作もしないでください。操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 喫煙しながらの運転は控えましょう。注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは JC31N-A

燃料の取り扱いに注意

警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。

注意

- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。

アドバイス

- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

⚠警告

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

⚠警告

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

⚠注意

- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

⚠注意

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。

アドバイス

- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

各部の開閉

3

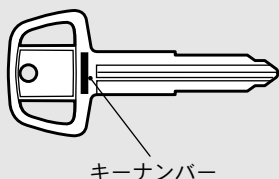
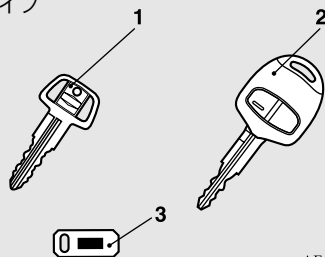
各部の開閉

キー

JF21A-Be

キーが2本ついています。

アドバイス

- 万一，キーを紛失したときキーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。
  A タイプはキーに，B タイプはキーナンバープレートにキーナンバーが打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- お車によりキーの組み合わせは異なります。

1- マスターキー
2- マスターキー
（キーレスエントリー用キー）
3- キーナンバープレート

ド ア

JF22B-Gb

警告

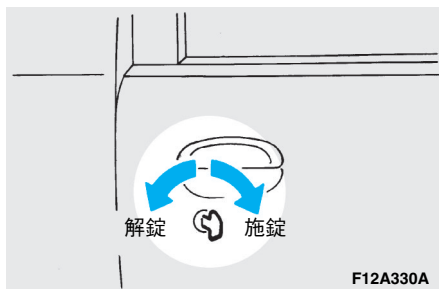
- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

注意

- ドアを閉めるときは，確実に閉まっていることを確認してください。半ドアでは，走行中に開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

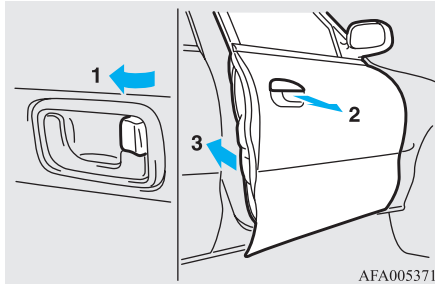
車外からの施錠・解錠

● キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

● キーを使わずに施錠するときは

フロントドア

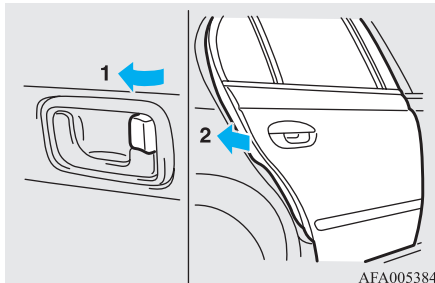
1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。

AFA005371

アドバイス

● キー抜き忘れ防止のためキーを持ってドアを閉じてください。

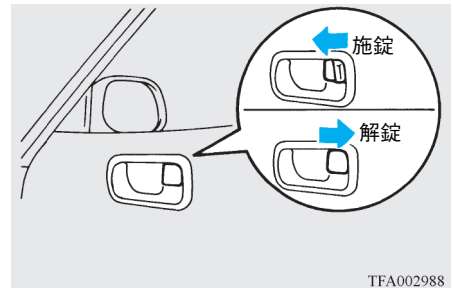
リヤドア（5 ドア車）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

AFA005384

● キー抜き忘れ防止

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，キーレスエントリー付き車はキーを差したまま運転席ドアを開け，ロックノブを前方に倒して施錠しようとしても施錠されません。

車内からの施錠・解錠

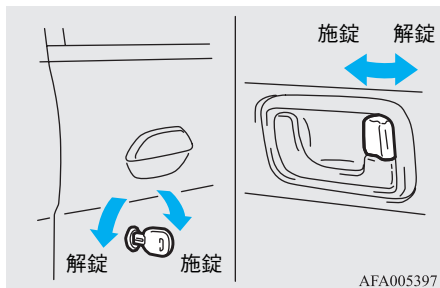
ロックノブを車両前方に倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。

TFA002988

アドバイス

● センタードアロック付き車は施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
このようなときはしばらくしてから（約 1 分後）操作してください。

センタードアロック JF12B-Sb

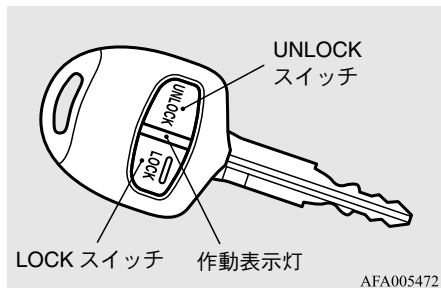
タイプ別装備

つぎの操作ですべてのドア（除く，テールゲート）の施錠・解錠ができます。
運転席のドアのキーを車両前方に回すと施錠し，車両後方に回すと解錠します。
ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。

アドバイス

- センタードアロック付き車は，施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約 1 分後）操作してください。

キーレスエントリー JF22DAM

タイプ別装備

リモコンスイッチでドアの施錠・解錠およびパワーウインドウを閉じることができます。

● ドアの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドア（除く，テールゲート）が施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドア（除く，テールゲート）が解錠します。
UNLOCK スイッチを押して解錠しても 30 秒以内にドア（除く，テールゲート）を開けなければ自動的に施錠されます。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間（●）位置のときに限られます。

施錠時：ルームランプと非常点滅灯が 2 回点滅

解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が 1 回点滅

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。

● パワーウインドウの閉じ方

LOCK スイッチを押してすべてのドア(除く，テールゲート）を施錠した後，30 秒以内に LOCK スイッチを再度 1 秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときはLOCKまたはUNLOCKスイッチを押します。

アドバイス

● リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- パワーウインドウの「閉じる」操作をできなくする
- パワーウインドウの「開ける」機能を追加する

● リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
近くに TV 塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。

● つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
- エンジンスイッチにキーが差してあるとき
- ドアが開いている，または半ドアのとき

● ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所にはリモコンスイッチを放置しないでください。リモコンスイッチが故障するおそれがあります。

● リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大 4 個まで作ることができます。

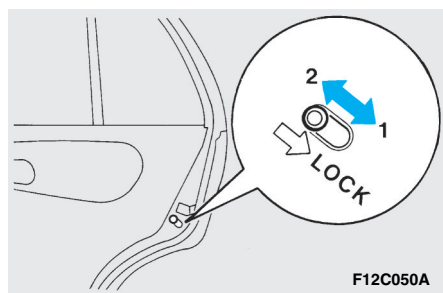
● リモコンスイッチ内部は精密なためつぎの点に留意してください。
- 衝撃を与えない。
- 水にぬらさない。
- 分解，改造をしない。

● つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
- 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
- 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置） JF12C-V

5ドア車

レバーを施錠側（1）にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。

F12C050A

1 - 施錠
2 - 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

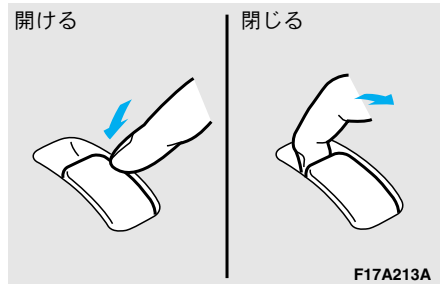
アドバイス

- 万一のときなど車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

パワーウインドウ JF27AAIc

タイプ別装備

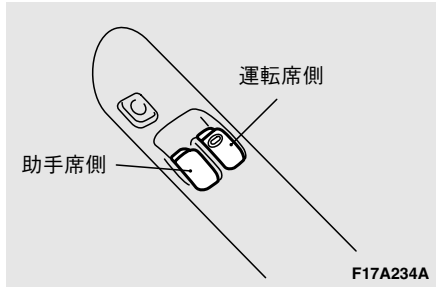
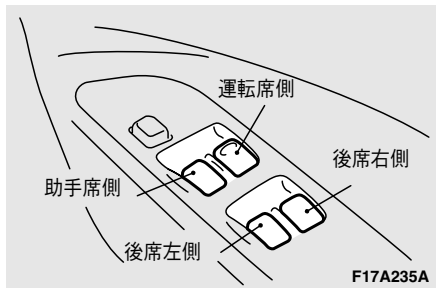
F17A213A

⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れて出てください。
  キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

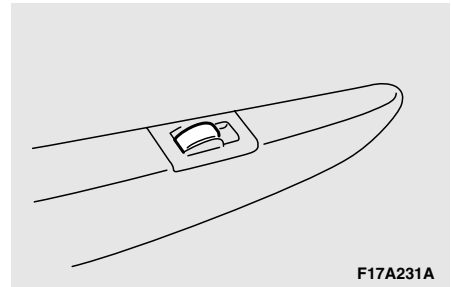
アドバイス

- キーレスエントリー付き車は，リモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P.3-4
- 後席ドアガラスは全開しません。

運転席スイッチ

3 ドア車

5 ドア車

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。
スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

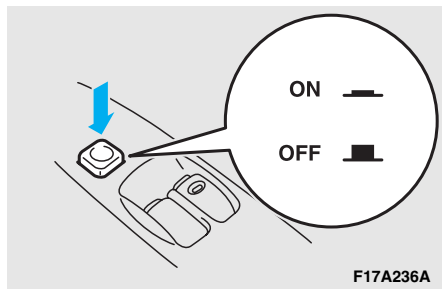
助手席，後席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

アドバイス

- エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はガラスを開閉することができます。この時間内に運転席のドアを開けるとさらに約30秒間ガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席のドアを閉めるとガラスの開閉はできなくなります。

3

ウインドウロックスイッチ

お子さまを乗せるときはウインドウロックスイッチを ON にしてください。
助手席や，後席のスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

アドバイス

- ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。

● セーフティー機構

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが下がる構造となっています。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

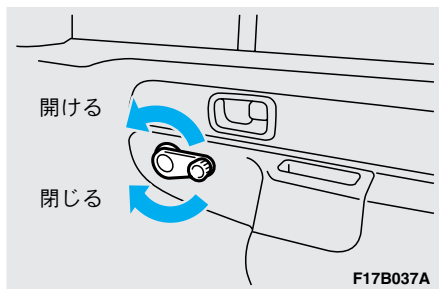
アドバイス

- 3回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，一旦スイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

マニュアルウインドウ

JF17B-F

タイプ別装備

ハンドルを車両前方へ回すと開き，車両後方へ回すと閉じます。

アドバイス

- 後席ドアガラスは全開しません。

エンジンフード

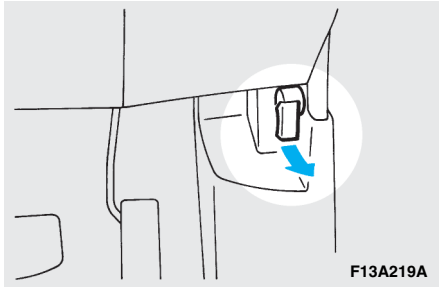
JF13A-If

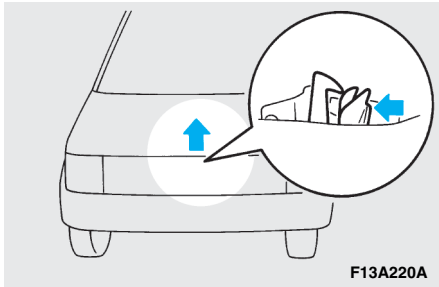
● 開け方

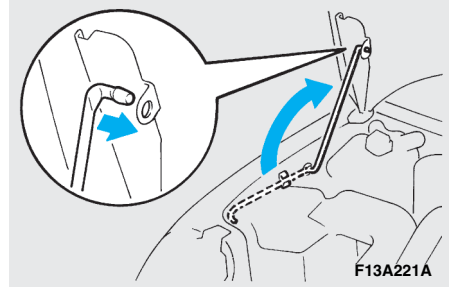
1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

> **アドバイス**
>
> ● ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

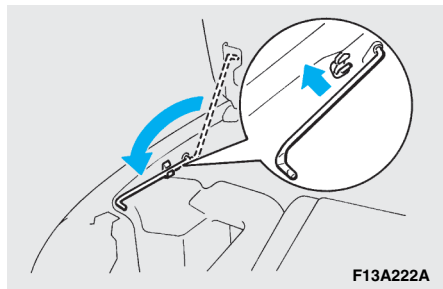
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

F13A219A

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

F13A220A

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

F13A221A

> **⚠注意**
>
> ● 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
>
> ● 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 閉じ方

1. エンジンフードを支えながら支持棒を外してクリップに固定します。

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約 30cm）から離します。

⚠注意

● 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

● 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行すると開くおそれがあります。

アドバイス

● エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

フューエルリッド（燃料補給口）

JC30AAA

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

● 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。

● フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。

● リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。

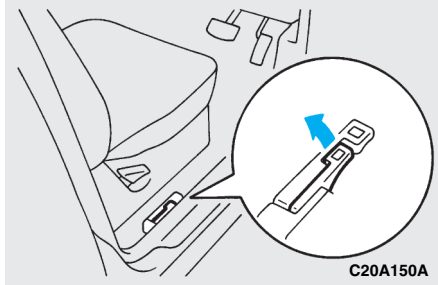
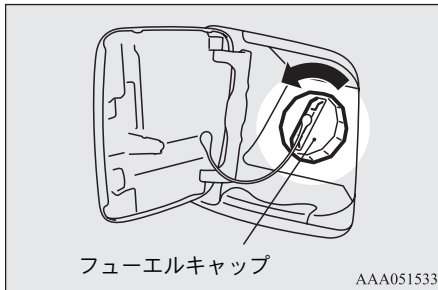
● 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

アドバイス

● 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
→「燃料は指定されたものを補給」P.2-5
→「サービスデータ：燃料の量と種類」P.13-1

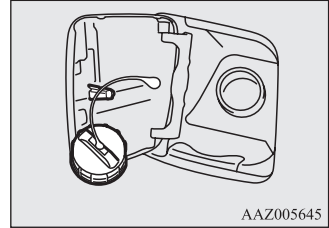
3

● 開け方

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

⚠警告

- 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

アドバイス

- フューエルキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。

● 閉じ方

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

- フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

テールゲート

JF25ABD

⚠警告

- 走行前に必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。
開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

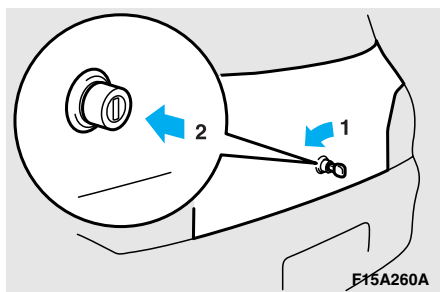
⚠注意

- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- テールゲートを閉じた後は必ずテールゲートが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちることがあります。

車外からの開閉

除く，オープナー付き車

● **開け方**

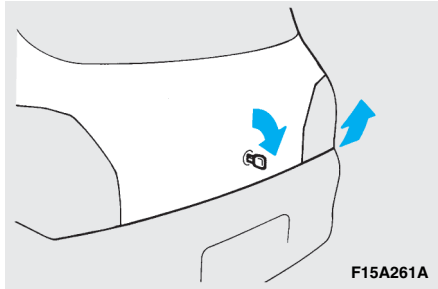
1. キーを差し込み左に回して解錠し，
2. プッシュボタンを押し込んだままテールゲートを持ち上げます。

● **閉じ方**

テールゲートをおろして押さえ，キーを差し込んで右に回して施錠します。

オープナー付き車

● **開け方**

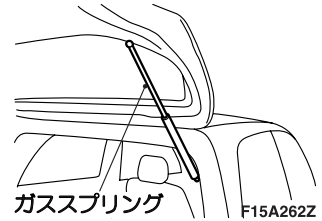
キーを差し込み，右に回すと開きます。

F15A261A

● **閉じ方**

テールゲートをおろして押さえると施錠されます。

アドバイス

● テールゲートを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。

F15A262Z

損傷や作動不良を防ぐため，つぎのことをお守りください。

- ガススプリングに手をかけてテールゲートを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

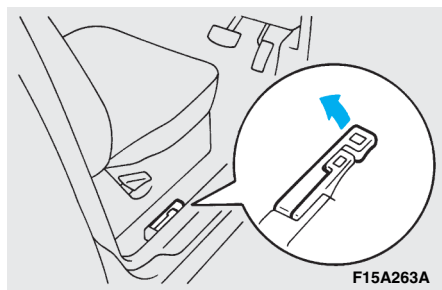
車内からの開け方

オープナー付き車

運転席右下のレバーを引き上げると開きます。

シート・シートベルト・チャイルドシート・SRS エアバッグ

4

シート

シートベルト

チャイルドシート

SRS エアバッグ

シート

フロントシート

JG21A-Ci

シート各部の調整は走行前に行ってください。
正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をしたあとは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分の近くに手足を近づけないでください。
- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

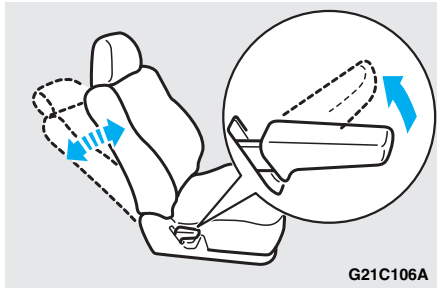
JG21B-CC

レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

G21B082A

背もたれ角度調整

JG21C-SB

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

G21C106A

⚠注意

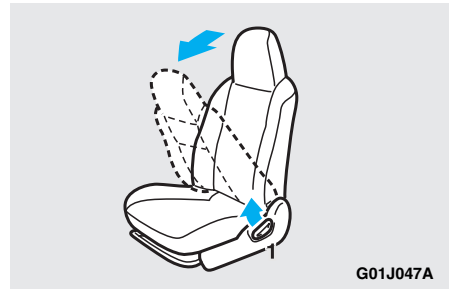
● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

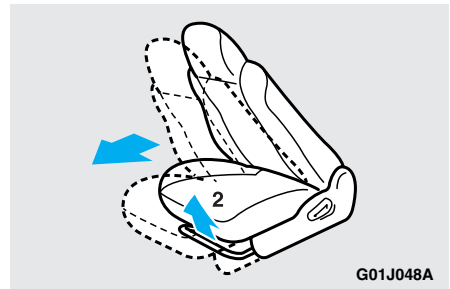
リヤシートへの乗り降り（3 ドア・助手席）

JG01JAAb

⚠警告

● 背もたれを前に倒した状態で運転しないでください。シートが固定されていないため，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. レバー（1）を引き上げると背もたれが倒れます。

G01J047A

2. レバー（2）を引いてシート全体を前方に移動します。

G01J048A

⚠注意

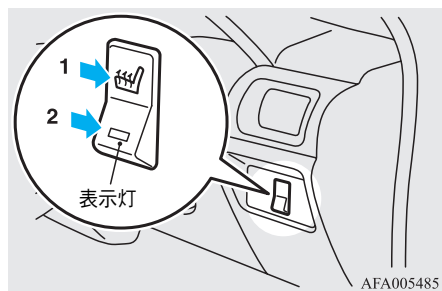
● レバーまたはペダルを操作するときは，背もたれに手を添えて行ってください。背もたれが急に戻り顔などにあたるおそれがあります。

フロントシートヒーター（運転席）

JG16A-Q

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときにスイッチの（1）側を押すとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。ヒーターの動作を停止するときはスイッチの（2）側を押します。

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれ等）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬等）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコール等の有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷原因となります。
- 水，ジュース等をこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

- ご使用にならないときはスイッチの (2) 側を押し，ヒーターを停止してください。

リヤシート

JG23B-Kf

⚠警告

- シート調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整や折りたたみまたは元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- リヤシートを折りたたんだ状態で人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。急ブレーキをかけたときなど重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

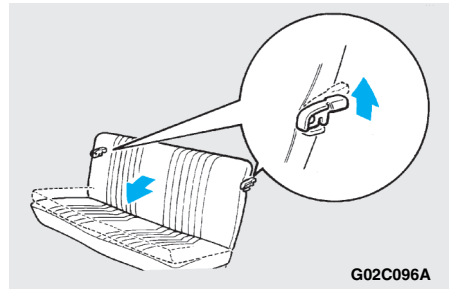
- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分の近くに手足を近づけないでください。

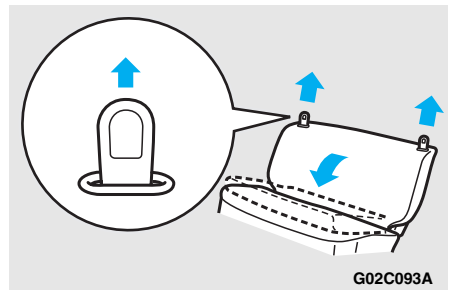
背もたれの前倒し

JG52C-Ad

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

Aタイプ

左右のレバーを引き上げてロックを外し，背もたれを前へ倒します。
戻すときは，背もたれを起こしレバーで確実にロックします。

Bタイプ

左右のノブを引き上げたまま，背もたれを前へ倒します。戻すときは，背もたれを確実にロックするまで起こします。

⚠警告

- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
急ブレーキをかけたときなどに重大な事故につながるおそれがあります。

4

シート

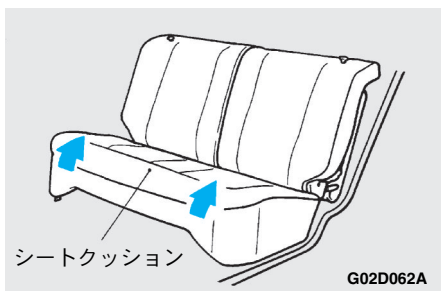
⚠注意

- 背もたれを戻したときは，確実に固定されていることを確認してください。
- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

リヤシートクッション JG52D-AB

リヤシートのシートクッションは取り外すことができます。シートカバーをつけるときなどにご利用ください。

● 取り外すときは

シートクッションの両端を持ち上げて，取り外します。

● 取り付けるときは

1. シートベルトのバックルをシートクッションの上に出します。
2. シートクッションを後方へいっぱいに押し込みながら，シートクッション下側の固定用フックを左右の取り付け穴にカチッと音がするまで押し込みます。

3. 取り付け後はシートクッションを軽くゆすり，シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

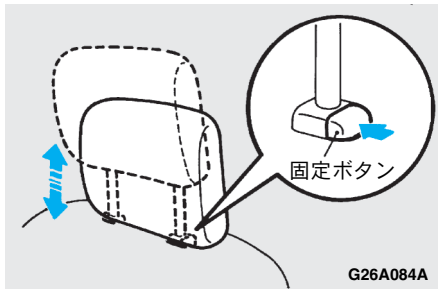
JG26A-Hd

タイプ別装備

⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 上下調整

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。
上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

● 取り外し・取り付け

JG26BAB

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。
取り付けるときは，固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

シートベルト

シートベルト

JG28A-Qk

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。

→ P.4-2

- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。

⚠警告

- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

シートベルト

3点式シートベルト　JG28KAPa

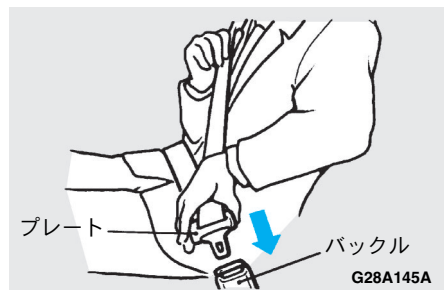
ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

● 着けるときは

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

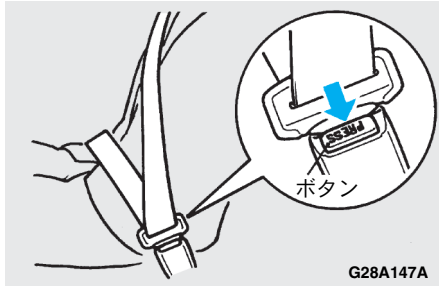
> **アドバイス**
>
> ● シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

G28A145A

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

G28A146A

● 外すときは

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

⚠警告

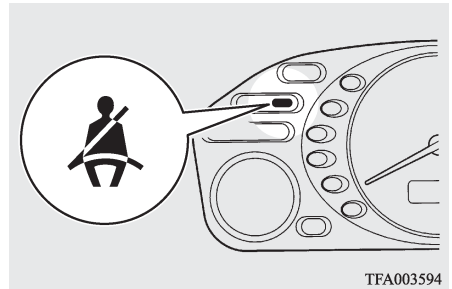
● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

アドバイス

● チャイルドシート固定機構付シートベルトはシートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに，シートベルトが引き出せなくなることがあります。これはチャイルドシート固定機構が作動しているためです。
このときは，シートベルトをすべて巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
→「シートベルトでの取り付け方」P.4-17

シートベルト警告灯

JD27A-Ja

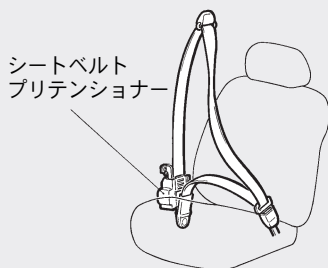
エンジンスイッチが ON で運転席のシートベルトを着用していないと点灯し，運転者にシートベルトの着用をうながします。
シートベルトを着用すると消灯します。

プリテンショナー機構 / フォースリミッター機構付シートベルト

JG28H-H

タイプ別装備

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

● プリテンショナー機構

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。
衝撃の大きさによっては，SRS エアバッグが作動せずにプリテンショナー機構のみ作動する場合があります。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P.4-2
  - シートベルトを正しく着用してください。→「シートベルト」P.4-8

⚠注意

- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

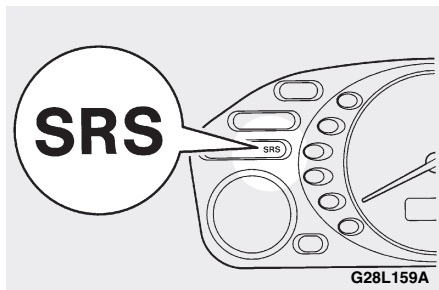
● フォースリミッター機構

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

● SRS エアバッグ /
プリテンショナー警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。

SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

⚠注意

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
- 走行中に警告灯が点灯する

チャイルドシート

チャイルドシート JG18B-Xb

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

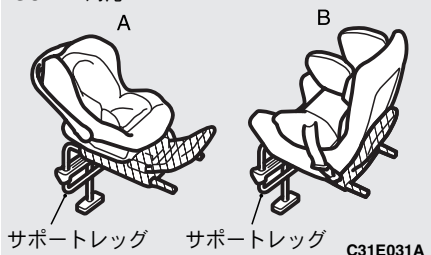
ISO FIX 対応チャイルドシート

チャイルドシート固定専用バー＊1が装備された座席専用のチャイルドシート＊2 です。専用バーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

＊1:ISO13216-1 に適合したチャイルドシート固定専用バーです。
ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

＊2: お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

⚠警告

- お客様のお車用として認可を受けていないチャイルドシート（サポートレッグなしのもの，三菱自動車純正指定以外のものなど）を使用すると，チャイルドシートが適切に固定されずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお客様のお車専用のチャイルドシートを使用してください。

A: 乳児用（ベビーシート）
B: 幼児用（チャイルドシート）
ベース部（斜線部分）は，各シートと別体となります。

＜選択の目安＞

	体重（kg）	身長（cm）	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	9 未満	75 以下	新生児～9ヶ月
幼児用＊（チャイルドシート）	9 ～ 25 未満	75 ～ 115	9ヶ月～6 才

＊：幼児用（チャイルドシート）は学童用（ジュニアシート）としても使用できます。詳しくはチャイルドシートに添付の取扱説明書をお読みください。

除く，ISO FIX 対応チャイルドシート

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。

＜選択の目安＞

	体重（kg）	身長（cm）	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	13 未満	80 以下	新生児～18ヶ月
幼児用（チャイルドシート）	18 未満	105 以下	4 才以下
学童用（ジュニアシート）	15 ～ 36	95 ～ 150	3 才～12 才

アドバイス

- 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席 SRS エアバッグ付き車は，助手席には乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

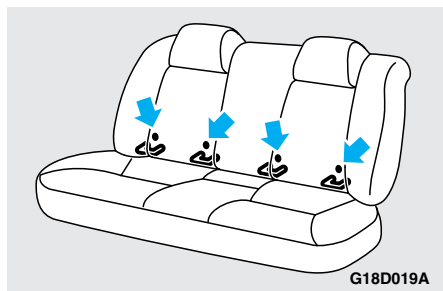
ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーでの取り付け方

JG18D-Ba

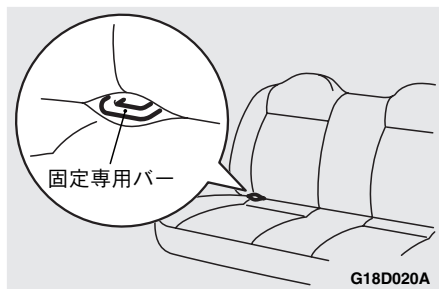
タイプ別装備

リヤシートの図の位置に ISO* FIX 対応のチャイルドシートを固定するための専用バーを取り付けることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

*: ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

G18D019A

● 取り付けるときは

1. シートクッションと背もたれのすきまを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。

G18D020A

2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

⚠警告

● チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，チャイルドシートが取り付けられているときは，シートの調整はしないでください。

● 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

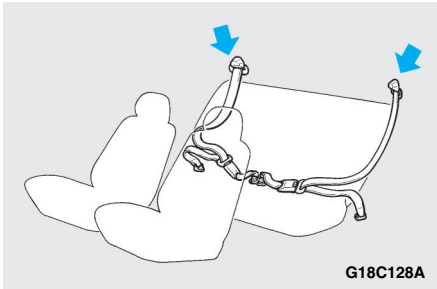
シートベルトでの取り付け方

JG18C-Fh

● チャイルドシート固定機構付シートベルトで取り付けるときは

タイプ別装備

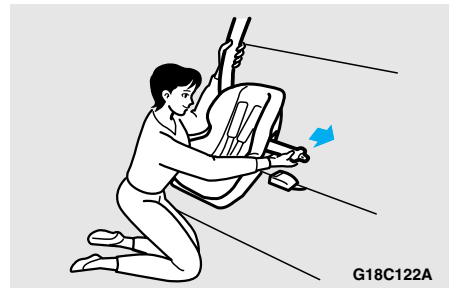
リヤシートのシートベルトにはチャイルドシート固定機構がついています。

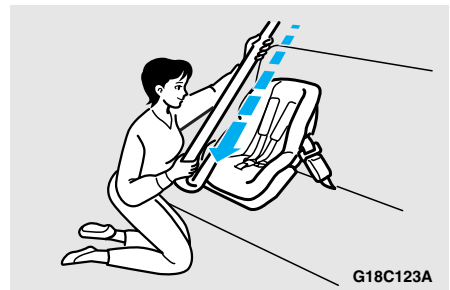
G18C128A

シートベルトを全部引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。ベルトを巻き戻す途中で手を止めると引き出し方向にベルトが動かない状態となって，チャイルドシートを固定することができます。
チャイルドシートを取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

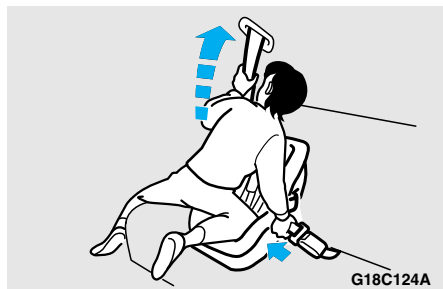
アドバイス

- 以下に説明する取り付け方は，一般的なチャイルドシートの取り付け方を例に記載しています。取り付けるときは必ずチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

1. チャイルドシートをリヤシートに置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってチャイルドシートのベルトガイドにシートベルトを通してから，プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。

G18C122A

3. 肩部ベルトをゆっくりと最後まで引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。

G18C123A

4. ベルトを巻き取らせます。このとき，ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は，再度ベルトを最後まで引き出してください。
5. チャイルドシートにひざを置き，体重をかけてシートに押しつけながら，バックル側のベルトを引き上げてシートベルト全体のたるみがなくなるまで肩部ベルトを巻き取らせます。

G18C124A

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

● 取り外すときは

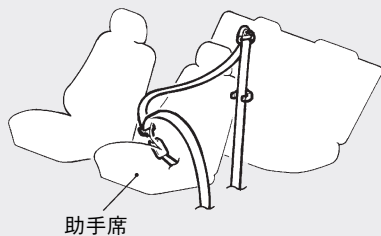
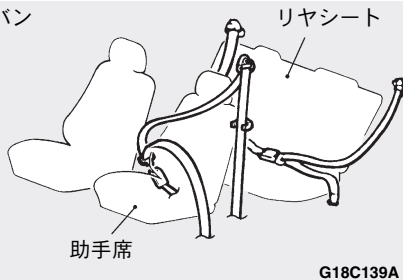
1. プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
2. シートベルトを最後まで巻き取らせチャイルドシート固定機構を解除します。

● チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトで取り付けるときは

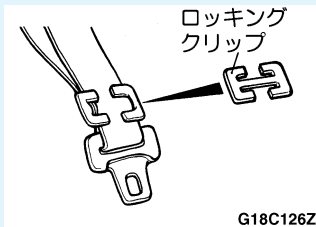
チャイルドシート固定機構付シートベルトで取り付けることをおすすめします。やむを得ずチャイルドシート固定機構付シートベルト以外で取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

1. チャイルドシートを取り付けたい場所に置きます。

G18C138A

G18C139A

2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

⚠警告

- シートベルトの種類によってチャイルドシートの取り付け方法が異なります。各シートベルトに合わせて正しく取り付けてください。
  - チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトを使うときも，必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
    タイプによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

● 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

SRS エアバッグ

JG28LAFa

タイプ別装備

運転席，助手席 SRS エアバッグは，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。
SRS とは Supplemental Restraint System の略語で補助拘束装置の意味です。

⚠警告

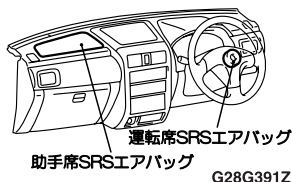
- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際に SRS エアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRS エアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。

⚠警告

- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後は高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

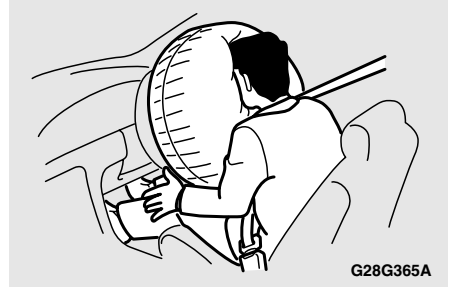
⚠注意

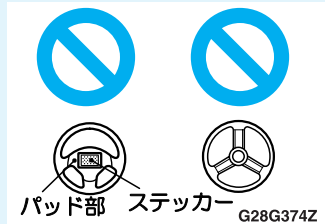
- 運転席，助手席 SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

4

アドバイス

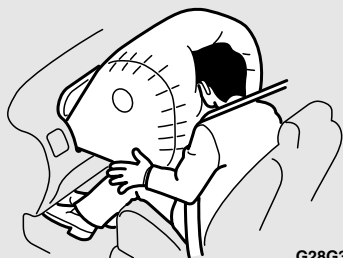
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグとの接触によりすり傷や打僕などを受けることがあります。
- SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席 SRS エアバッグ

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
  SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席 SRS エアバッグ

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

G28G366A

⚠警告

- インストルメントパネルの上に物を置いたり，ステッカー等を貼らないでください。
また，前面ガラスにアクセサリーを取り付けたり，ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨いだり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

G28G392Z

⚠警告

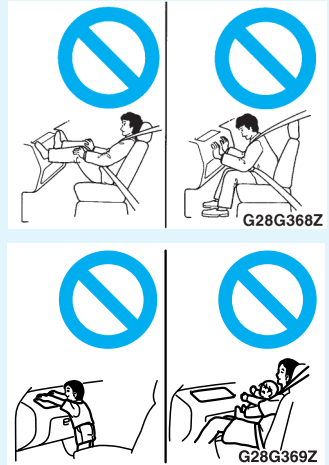
- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
  - シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
  - 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
  - 助手席 SRS エアバッグ付き車は，助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

G28G361Z

⚠警告

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

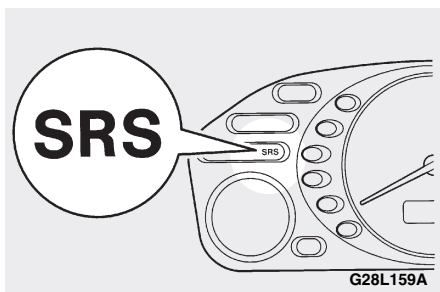
- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物を，ひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSエアバッグ

SRS エアバッグ / プリテンショナー警告灯

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグまたはプリテンショナー機構が作動すると，点灯したままとなります。

SRS エアバッグ警告灯はプリテンショナー警告灯と兼用しています。

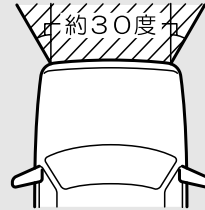
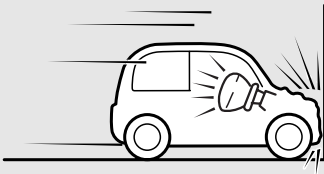
⚠注意

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま。
  - 走行中に警告灯が点灯する。

運転席，助手席 SRS エアバッグの作動条件

● 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

約 25km/h 以上の速度でコンクリートのような固い壁に正面から衝突したとき

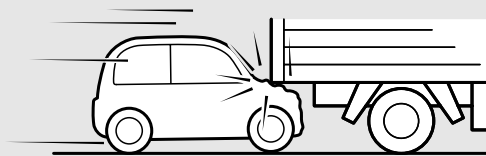
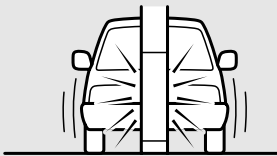
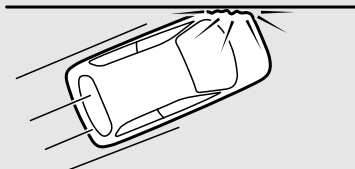
車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃（左記と同等）を受けたとき

G28G393B

アドバイス

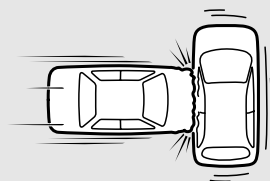
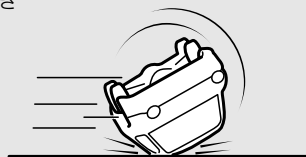
- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

● 作動しないことがあるとき

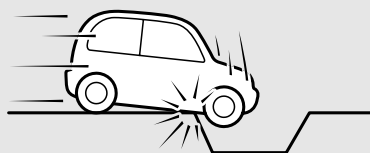
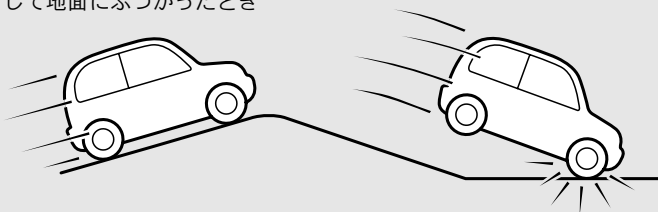
衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによって SRS エアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさと SRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

4

SRSエアバッグ

● **作動しないとき**

SRS エアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動した SRS エアバッグは，2 回目以降の衝突では再作動しません。

● **作動することがあるとき**

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

4

取り扱い上の注意

⚠注意

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグシステムに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わると SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやイントルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

メーター・スイッチ

メーター

スイッチ

5

メーター

JD01AQUd

1 - スピードメーター
2 - 燃料計
3 - オドメーター（積算距離計）/ トリップメーター（区間距離計）
4 - リセットボタン
5 - 水温計

スピードメーター

JD03A-I

走行速度を示します。

オドメーター（積算距離計）トリップメーター（区間距離計）

JD03F-Wb

エンジンスイッチが ON のとき，ODO（オドメーター），または TRIP（トリップメーター）を表示します。
リセットボタンを軽く押す（1 秒未満）たびに表示が切り換わります。

ODO（オドメーター）：
走行した総距離を km 単位で表示します。

TRIP（トリップメーター）：
2 地点間の走行距離を km 単位で表示します。
表示を 0 に戻すときはリセットボタンを約 2 秒以上押し続けます。

アドバイス

- トリップメーターは 999.9km まで計測することができます。
- バッテリー端子を外すとトリップメーターの記憶が消され，表示が 0 に戻ります。

燃料計

JD05AAIb

燃料の残量を示します。
F- 満タンです。（約 30L）
E- 燃料を補給してください。

警告

- 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

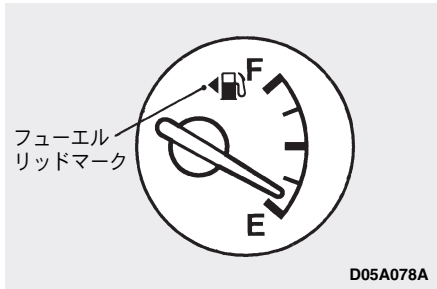
注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。指針が「E」表示部に近づいたら早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- エンジンスイッチを OFF にしても燃料の残量を示しています。
- 燃料補給後，エンジンスイッチを ON にしてから正しい残量を示すまでにしばらく時間がかかります。
- 坂道やカーブなどは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。

メーター

● フューエルリッドの位置表示

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側に付いていることを示しています。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 3-10

水温計

JD06A-Id

エンジンスイッチが ON のとき，エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

● 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは！」P.12-18

表示灯・警告灯

JD50AQUe

1 - 油圧警告灯
2 - シートベルト警告灯
3 - 方向指示表示灯 / 非常点滅表示灯
4 - セレクターレバー位置表示灯

オートマチック車 → P.6-8

5 - ヘッドライト上向き表示灯
6 - ブレーキ警告灯
7 - ABS 警告灯 タイプ別装備

→ P.6-19

8-SRS エアバッグ / プリテンショナー警告灯

タイプ別装備

→ P.4-13, 4-24

9 - 充電警告灯
10 - エンジン警告灯

メーター

表示灯

JD87A-A

方向指示表示灯 / 非常点滅表示灯

JD52A-Dc

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

JD51A-B

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

警告灯

JD87B-A

充電警告灯

JD54A-HB

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

JD25A-EC

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
  （点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

エンジン警告灯 JD85A-La

エンジン制御装置に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  走行中はアクセルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。
  停車時はアイドリング回転数が高くなり，オートマチック車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

ブレーキ警告灯 JD23ABA

エンジンスイッチが ON のときに点灯し，エンジンをかけると消灯します。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき

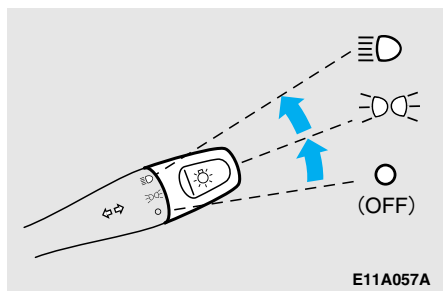
⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

ライトスイッチ

JE31A-Xb

ツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ランプ名称	≡D	≡0 0≡
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

● ヘッドライト＊オートカット機能（自動消灯）

＊ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

(1) ライトスイッチが≡Dまたは≡0 0≡の位置で，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。

- キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴って，ランプ類の消し忘れを知らせます。
- キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ピピッ，ピピッ」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

(2) ライトスイッチが≡Dまたは≡0 0≡の位置で，エンジンスイッチを OFF にし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

降車後，照明として利用するときは

降車後も約30秒間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチとエンジンスイッチをOFFにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にします。

アドバイス

● ライトスイッチをAUTO位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）

3. 運転席から降車します。

アドバイス

● 運転席から降車する際，キーが抜かれていればランプ消し忘れ警告ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

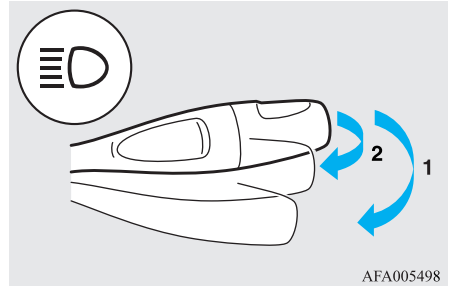
4. 約30秒後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

● 運転席から降車しない場合は約3分後に自動消灯します。
● キーレスエントリー付き車は，つぎの機能を変更することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  • ライトスイッチがAUTO位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  • ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

上下切り換え

JE11B-Lb

レバーを（1）まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを（2）まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

アドバイス

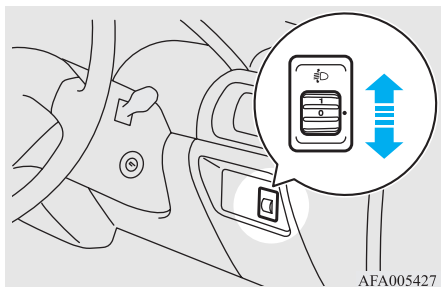
● ライトスイッチが o（OFF）位置でも，レバーを（2）まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
● ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリングダイヤル

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

5

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“0”の位置に戻してください。

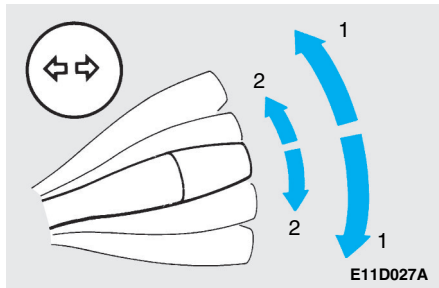
乗員やラゲッジルームの積載状態		ダイヤル位置			
		セダン		バン	
		2WD	4WD	2WD	4WD
	運転席乗車時	0	0	0	0
	運転席＋助手席乗車時	0	0	–	–
	全席乗車時	2	1	–	–
	全席乗車＋ラゲッジルーム最大積載時	2	2	–	–
	運転席乗車時＋ラゲッジルーム最大積載時（後席折りたたみ）	3	2	3	2

アドバイス

● 車検などで光軸調整をするときは，ダイヤルを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）に戻してから行ってください。

方向指示レバー

JE11D-Bd

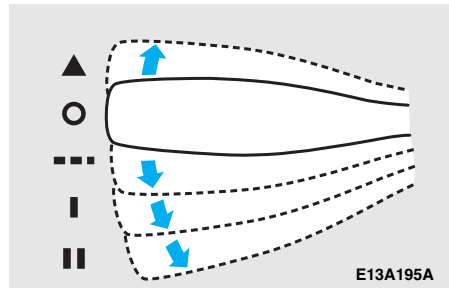
エンジンスイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1 - 方向指示
2 - 車線変更

> **アドバイス**
>
> ● 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検してください。

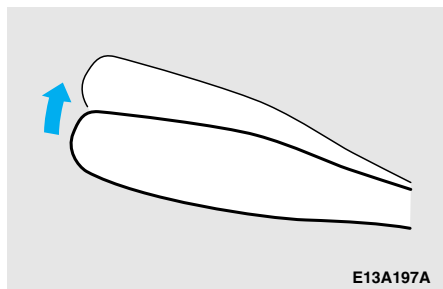
フロントワイパー・ウォッシャースイッチ

JE13ACU

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。

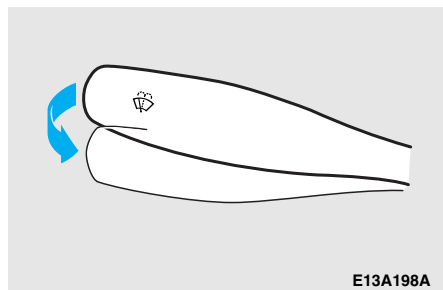
ワイパースイッチ

- ▲ 1 回作動（ワイパーミスト機能）
- ○ 停止
- --- 間けつ作動（約 4 秒おき）
- I 低速作動
- II 高速作動

● ワイパーミスト機能

E13A197A

レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回作動します。霧雨のときなど1回だけワイパーを作動させたいときにご使用ください。▲位置に上げている間，ワイパーが連続作動します。

ウォッシャースイッチ

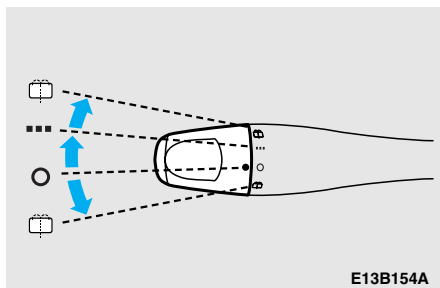
レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

E13A198A

リヤワイパー・ウォッシャースイッチ

JE03B-Hd

タイプ別装備

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

E13B154A

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

- ┅ 間けつ作動
  数回作動し，その後約8秒おきに作動
- ○ 停止
- （ウォッシャー記号） この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

● 後方の視界を確保するため，┅の位置で間けつ作動中にシフトレバー（またはセレクターレバー）をⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。

ワイパー・ウォッシャースイッチの注意

JE13C-Fc

⚠注意

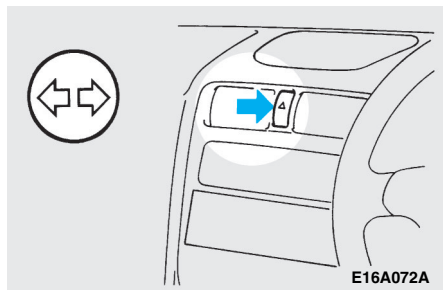
- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウィンドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P.10-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

非常点滅灯スイッチ JE16A-Fd

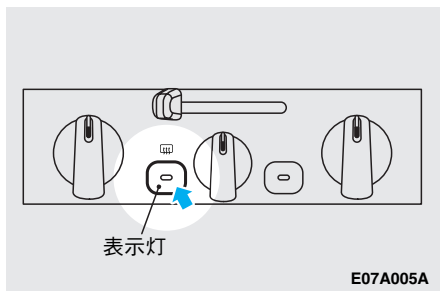
故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

E16A072A

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ JE17A-Ie

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すと作動は停止します。

E07A005A

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので，曇りが取れたらスイッチを切ってください。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ JE23A-AA

エンジンスイッチが ON または ACC のときにハンドルの マーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

E23A031A

運転装置

6

運転装置

エンジンスイッチ

JI41A-Cc

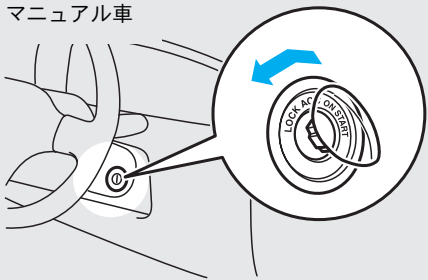
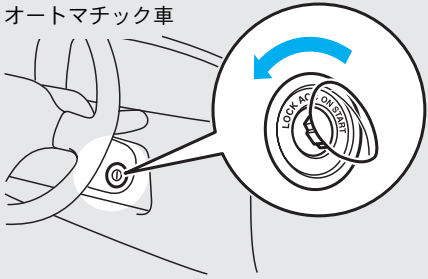
各位置の働き

LOCK（ロック）	キーが抜き差しできます。キーを抜くとハンドルがロックされます。
ACC（アクセサリー）	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できます。
ON（オン）	すべての電気系統が働きます。 エンジン回転中の位置です。
START（スタート）	エンジンがかかります。 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的に ON の位置へ戻ります。

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチを LOCK にしてください。エンジンスイッチを ON または ACC のままラジオ，カセットステレオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリーあがりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーを START の位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- キーが LOCK から ACC に回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

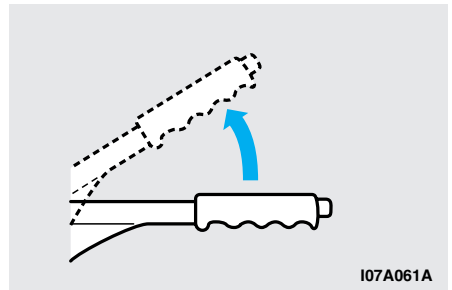
キーを抜くときは

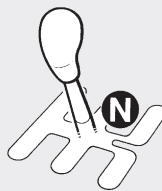
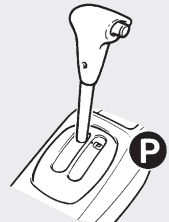
LOCK まで回して抜きます。
マニュアル車はACCの位置でキーを押しながら LOCK まで回して抜いてください。

アドバイス

- オートマチック車はセレクターレバーが Ⓟ でないとキーを抜くことはできません。

エンジンをかける前に

JI47A-L

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P.4-2
2. 駐車ブレーキをかけていることを確認します。

3. マニュアル車はシフトレバーを Ⓝ に入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ にします。

⚠注意

- オートマチック車はセレクターレバーが Ⓟ または Ⓝ 以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できる Ⓟ でエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチスタートシステムが装着されています。

  クラッチスタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- オートマチック車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏みまちがいを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルとまちがえて踏むと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 厳寒時などアクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

エンジンのかけ方

JI47BAT

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は，排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
  正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかけてください。
  →「エンジンをかける前に」P.6-3
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P.5-7

> **アドバイス**
>
> - バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，START にして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10 秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーを LOCK に戻し，2 ～ 3 秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
> - エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
> - バッテリー交換後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
>   エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
>   →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは !」 P.12-22

● **通常時**

アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。

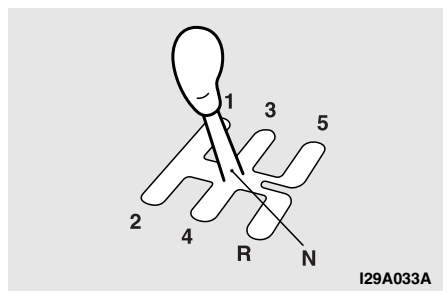
● **厳寒時**

1. アクセルペダルを半分程度踏み込んだままエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

> **アドバイス**
>
> - エンジンがかからないときはつぎの手順にしたがってください。
>   - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
>   - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

マニュアルトランスミッション

JI29A-G

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。

注意

- Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。

アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
  一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。

変速位置とスピード範囲 JI03CQUc

エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が下の表の数値を越えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

単位 :km/h

項 目	1 速	2 速	3 速	4 速
2WD	35	65	95	135
4WD	25	45	70	105

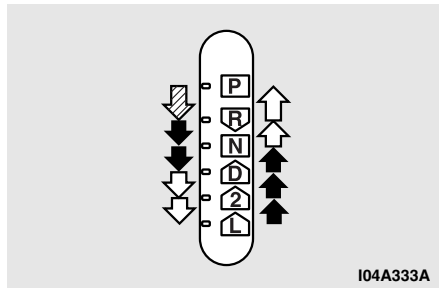
オートマチックトランスミッション（シフトロック装置付き）

JI04ABB

「安全なドライブのために—オートマチック車の取り扱い」もあわせてお読みください。
→ P.2-10

セレクターレバーの動かし方

I04A332A

I04A333A

（斜線入り下向き矢印）は，ブレーキペダルを踏んだままボタンを押して操作します。

（黒塗り下向き矢印）は，ボタンを押さずに操作します。

（白抜き下向き矢印）は，ボタンを押したまま操作します。

⚠ 警告

- （黒塗り下向き矢印）の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤って Ⓟ，Ⓡ，❷，Ⓛ に入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクターレバーを Ⓝ→Ⓓ または Ⓝ→Ⓡ に操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 安全のため走行中はレバーを Ⓝ に入れないでください。

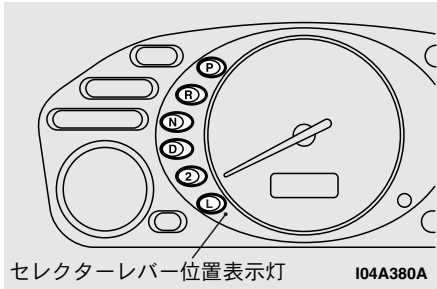
アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いて Ⓟ から他の位置に操作できません。
また，キーが LOCK 位置のときはブレーキペダルを踏んでも Ⓟ から他の位置に操作できません。
- （斜線入り下向き矢印）の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- Ⓓ から Ⓡ，Ⓡ から Ⓓ および Ⓟ に入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちに Ⓟ や Ⓡ に入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

● 表示灯

セレクターレバーの位置をランプで表示します。

セレクターレバーの位置・働き

JI04B-Ff

(パーキング)駐車およびエンジンをかけるとき

車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。
Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。

(リバース)後退させるとき

Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

> **⚠注意**
>
> ● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

(ニュートラル)中立

動力が伝達されません。
この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。

(ドライブ)通常走行

発進から高速走行まで自動的に変速されます。
(1速から3速まで自動的に変速されます。)

2

(セカンド)下り坂走行

エンジンブレーキが必要なときに使います。
(1速から2速まで自動的に変速されます。)

(ロー)急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。
(1 速のままで変速されません。)

> **⚠警告**
>
> ● ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

運転のしかた

JI04D-Db

オートマチック車

発 進

JI04M-P

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

● ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。
左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

● セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

クリープ現象とは・・・

セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくり動き出すオートマチック車特有の現象です。

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

● セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクターレバーの位置をメーター内のセレクターレバー位置表示灯で確認します。
4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走 行

JI04N-Ga

⚠警告

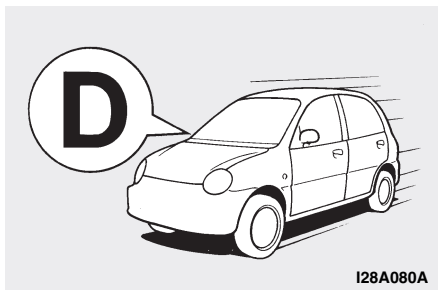
● 走行中はセレクターレバーを Ⓝ に入れないでください。誤って Ⓟ，Ⓡ に入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

● セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
坂道などで，前進の位置（Ⓓ，❷ または Ⓛ）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置 Ⓡ にしたまま惰性で前進しないでください。
エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

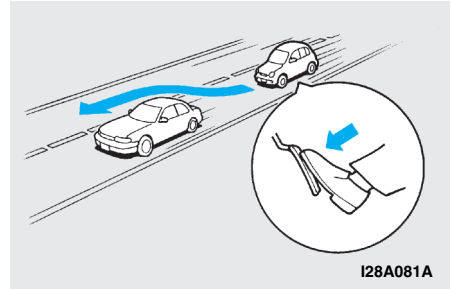
● 通常走行

セレクターレバーを Ⓓ で走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

I28A080A

● 急加速したいとき

JI04F-FC

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

I28A081A

● 上り坂走行

JI04R-E

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと，キックダウンしてエンジン回転が上がることがあります。
このようなときは，坂道の程度やスピードに応じて ❷ または Ⓛ にしておくと変速回数が少なくなり，なめらかな走行ができます。

6

● 下り坂走行

JI04O-Hb

長い下り坂や急な下り坂などエンジンブレーキを必要とする場合は，坂道の程度やスピードに応じて❷または🅛に入れます。

長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ずエンジンブレーキを併用してください。

ベーパロックとは・・・

ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰して気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは・・・

ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されると摩擦力が低下してブレーキの効きが悪くなる現象。

● 各セレクターレバー位置での上限速度

JI04VQX

エンジンの過回転を防止するため❷，🅛はスピードがつぎの値以下のときにお使いください。

単位 :km/h

セレクターレバーの位置	速度	
	2WD 車	4WD 車
❷	75	70
🅛	40	35

⚠警告

● 急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。

停 車

JI04G-M

1. セレクターレバーは🅓のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

● エアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，車が動き出さないように，特に注意してください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

● 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
● 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因となります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーを🅝に入れます。

⚠注意

● 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーが🅟，🅝以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーが🅓位置にあることをメーター内のセレクターレバー位置表示灯で確認してから発進してください。

駐 車

JI04H-Ga

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを Ⓟ に入れます。

⚠注意

- Ⓟ では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが Ⓟ に入っていることをメーター内のセレクターレバー位置表示灯で確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに Ⓟ に入れると，急停止してけがをしたり，トランスミッションを破損するおそれがあります。

アドバイス

- 坂道では，駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーを Ⓟ に入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが Ⓟ 以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

アドバイス

- 車を少し移動させる場合でも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 車を後退させる場合は身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
  ブレーキペダルが確実に踏めるようにしてください。
- 切り返しなどで Ⓓ から Ⓡ，Ⓡ から Ⓓ と何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。車が動いているうちに Ⓟ や Ⓡ に入れるとトランスミッションの故障の原因となります。

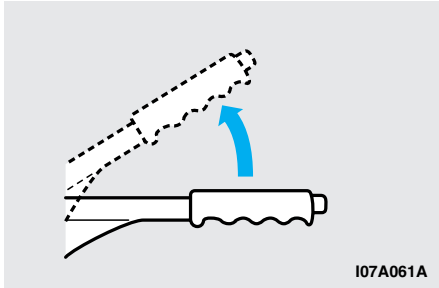
駐車ブレーキ

JI07AAR

かけるときは

ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

⚠注意

● 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，シフトレバーを ❶ または Ⓡ（オートマチック車は Ⓟ）に入れてください。

解除するときは

1. レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。
   解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

⚠注意

● 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

● 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

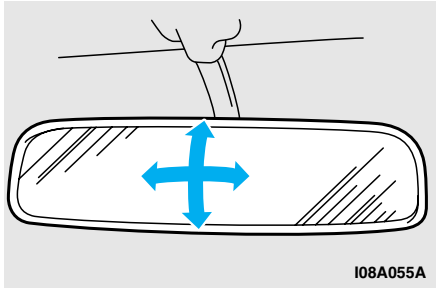
ルームミラー

JI08AAF

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの本体を上下左右に押して角度を調整します。

I08A055A

ドアミラー

JI18BBS

ミラーの角度調整

⚠注意

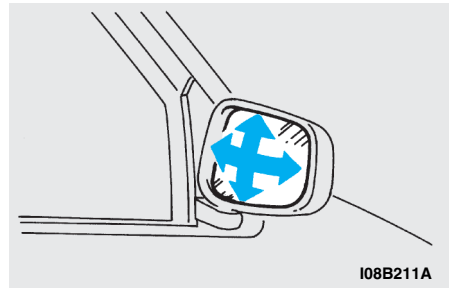
- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

● 手動ドアミラー

タイプ別装備

ミラー本体を上下左右に押して角度を調整します。

I08B211A

6

● 電動リモコンドアミラー

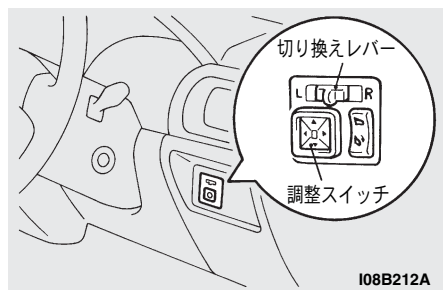
タイプ別装備

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

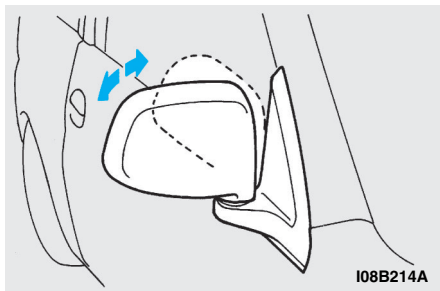
1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L: 左側ミラーの調整
   R: 右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

● 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

I08B212A

ドアミラーの倒し方

手でミラーを車両後方に倒すことができます。戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

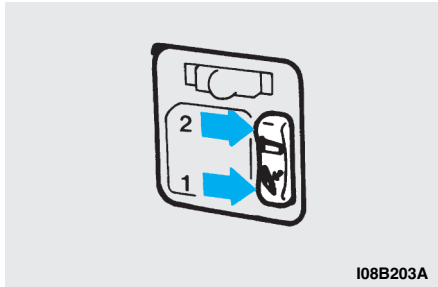
I08B214A

⚠注意

● ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

● ミラー格納スイッチ

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON または ACC のときに操作できます。

I08B203A

1. 格納スイッチの（1）側を押すとミラーが自動的に車両後方に倒れます。
2. ミラーを戻すときは格納スイッチの (2) 側を押します。
3. 操作が終わったら，格納スイッチの反対側を軽く押して中立位置に戻します。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
- ミラー作動中はエンジンスイッチを LOCK にしないでください。
- ミラーは手で倒すことも，戻すこともできますが，エンジンスイッチが ON またはACCのときは格納スイッチの押されている方向へ作動します。
- 手でミラーを動かしたり，人や物があたってミラーが動いた後は，格納スイッチでミラーが操作できないことがあります。
  このようなときは格納スイッチの（1）側を押して格納状態にした後で，（2）側を押してミラーを戻します。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

リヤチェックバックアップランプ

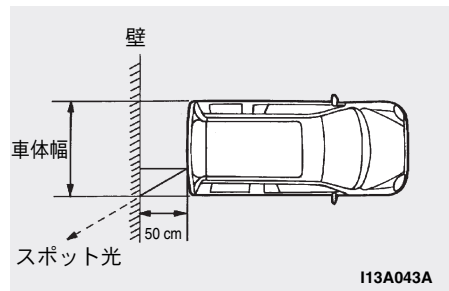
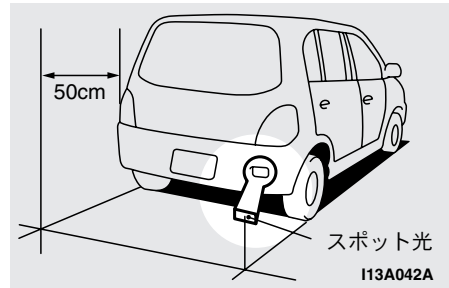
JI13A-K

バックアップランプスポット光の照らす位置により後方距離が確認できます。
後方に壁などのある場所で車を後退させているとき，バックアップランプスポット光と車体幅延長線が交わると壁までの距離が約 50cm になったことがわかります。
一度，試して感覚をつかんでおいてください。

⚠注意

- 周りの状況に注意し，安全を十分に確認しながら後退してください。

I13A042A

I13A043A

アンチロックブレーキシステム（ABS） JI24AAS

タイプ別装備

アンチロックブレーキシステム（ABS）とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABSは制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABSを過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4 輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル（LSD）を装着しないでください。
  ABSが正常に作動しなくなるおそれがあります。

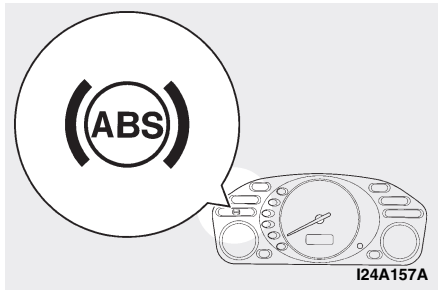
アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動時以外でもABSが作動することがあります。
- ABS が作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これはABS装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABS は，発進後車速が約 10km/h になるまで作動しません。
  また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS 警告灯

正常なときは，エンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告灯が点灯したときは

1. 急ブレーキをかけると車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
   エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
   しばらく走行しても点灯したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。
2. ブースターケーブルによりエンジンを始動した後，充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じると共に ABS 警告灯が点灯し走行できないことがあります。
   これはバッテリー電圧不足によるもので ABS の故障ではありません。
   このようなときは，アイドリング回転でバッテリーを充電してから走行してください。

フルタイム 4WD 車の取り扱い

JI42A-H

走行について

フルタイム4WD車といってもどこでも走れる万能車ではありません。
2WD 車と同様，ハンドル・ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - 砂地，ぬかるみなどタイヤが空転しやすいところでの走行は避けてください。タイヤの空転を続けると駆動系部品に無理がかかり，重大な故障の原因となるおそれがあります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - ブレーキ性能は 2WD 車とあまり差はありません。極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

タイヤ，ホイールについて

JI49AAFb

4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤには細心の注意をしてください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤとホイールのサイズ」P.13-7
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P.10-4
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P.13-8

⚠注意

● 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

JI42C-O

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。

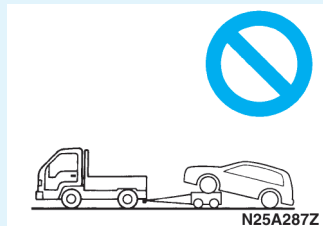
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，4 輪接地の状態でけん引してください。

ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

● 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。

→「けん引」P.12-20

アドバイス

● レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

● ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

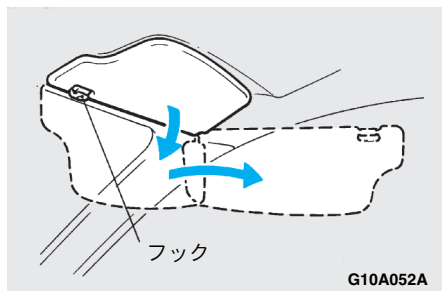
室内装備

7

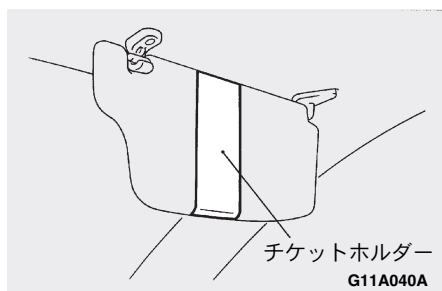
サンバイザー

JG10A-V

前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

G10A052A

チケットホルダー

運転席サンバイザーのおもて側または裏側にあり，通行券などをはさむことができます。

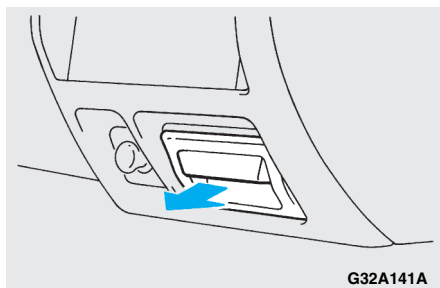
G11A040A

灰皿

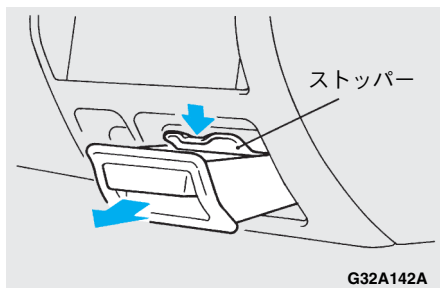
JG32A-DC

⚠注意

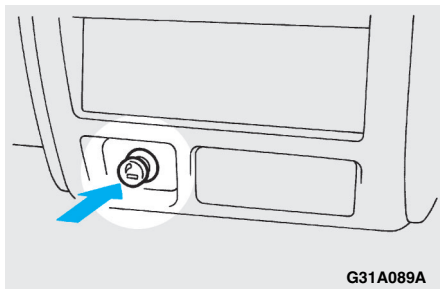
- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
火災の原因となります。

使用するときは引き出します。

G32A141A

掃除するときは，灰皿のストッパーを押したまま引き出します。

G32A142A

シガレットライター JG31A-Na

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON または ACC のときにシガレットライターを押し込んで手を離します。
しばらくすると音がして戻ります。

⚠注意

- お子さまにシガレットライターを扱わせないでください。
- シガレットライターが過熱し，火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
  - 押さえつけたままにしないでください。
  - シガレットライターを改造したりしないでください。
  - 他車のシガレットライターを使用しないでください。
- 市販の電気製品を使用しないでください。ソケットが損傷する原因となります。
  ソケットが損傷した場合に使用すると，シガレットライターが飛び出したり，押し込まれたまま戻らなくなるおそれがあります。
- シガレットライターを扱うときは，熱している部分や，その近くはさわらずにノブのみをさわってください。
- シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- シガレットライターをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- ソケットを使用するときは，必ず 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。
  また，エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

ルームランプ

JE29AAP

1. （ON）
ドアの開閉に関係なく点灯します。
2. （●）

除く，キーレスエントリー付き車

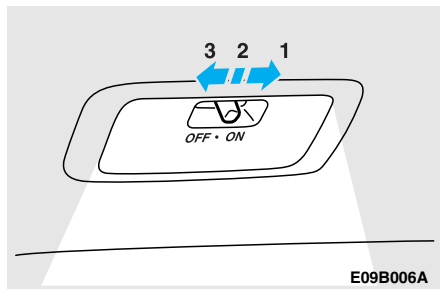
[セダン]
いずれかのドア（除く，テールゲート）を開けると点灯，閉じると消灯します。
[バン]
運転席ドアを開けると点灯，閉じると消灯します。

キーレスエントリー付き車

いずれかのドア（除く，テールゲート）を開けると点灯，閉じると徐々に減光しながら約 30 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
- エンジンスイッチを ON にしたとき
- 運転席ドアのキー，ロックノブ，またはキーレスエントリーのリモコンスイッチを使って，すべてのドアを施錠したとき

アドバイス

● キーレスエントリー付き車はドアが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約 30 秒後に消灯します。
また，消灯までの時間を調整することもできます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

3. （OFF）
ドアの開閉に関係なく消灯します。

アドバイス

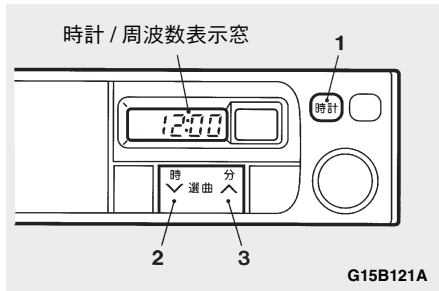
● エンジンがかかっていないときに長い間ルームランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

7

時計

JG15BAUa

AM 電子同調ラジオ

周波数表示窓は通常時計表示となっています。
ラジオ使用時に時計ボタン（1）を軽く押すと，周波数表示に切り換わります。
もう一度押すと時計表示になります。

G15B121A

● 時刻の合わせ方

1. 時計ボタン（1）を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
   “時” 合わせボタン（2），“分” 合わせボタン（3）を押して時刻を合わせます。
   押し続けると早送りになります。
   時刻を合わせたら，時計ボタン（1）を押し，時計表示の点滅を解除します。

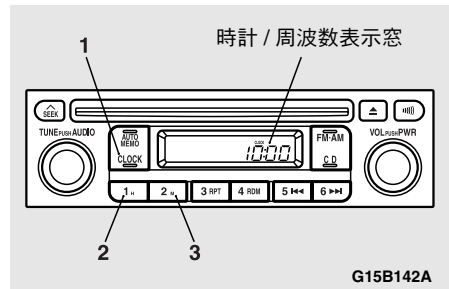
アドバイス

● バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。

AM/FM 電子同調ラジオ

詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

AM/FM 電子同調ラジオ & CD プレーヤー

周波数表示窓は通常時計表示となっています。
ラジオモード（および CD モード）時に時計ボタン（1）を軽く押すと，周波数表示（および CD 走行表示）に切り換わります。
もう一度押すと時計表示になります。

G15B142A

● 時刻の合わせ方

1. 時計ボタン（1）を押し続け時計表示を点滅させます。
2. 「時・分合わせ」
   “時” 合わせボタン（2），“分” 合わせボタン（3）を押して時刻を合わせます。
   押し続けると早送りになります。
   時刻を合わせたら，時計ボタン（1）を押し，時計表示の点滅を解除します。

7

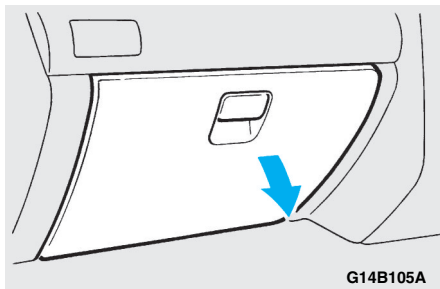
アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。
- 電源を入れたときや何らかのオーディオ操作（オーディオ調整操作，ラジオ操作および CD 操作）をしたときは，一時的に各モード表示に切り換わります。
- ラジオモード（および CD モード）時に常に周波数表示（および CD 走行表示）にしておきたいときは，時計ボタン（1）を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

グローブボックス

JG14B-KB

レバーを引くと開きます。

G14B105A

⚠注意

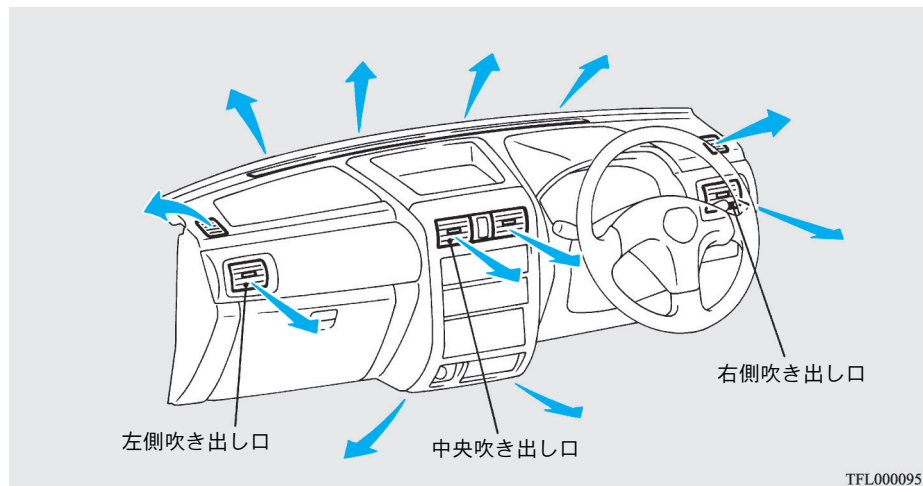
- 走行中はグローブボックスのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

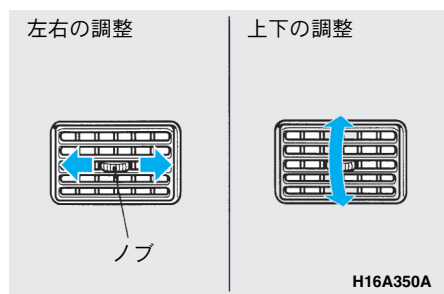
- 車を離れるときはグローブボックス内に貴重品を入れたままにしないでください。

エアコン

吹き出し口

JH16A-P

風向き調整

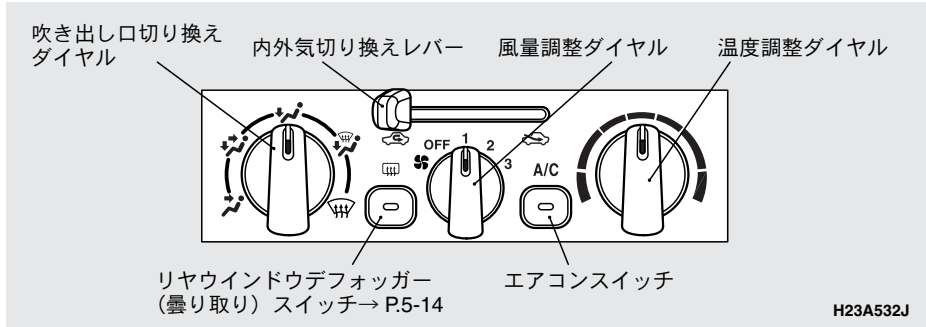
ノブ，吹き出し口を動かして調整します。

8

アドバイス

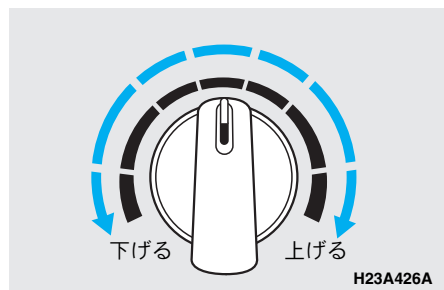
- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

エアコン

JH23AAHb

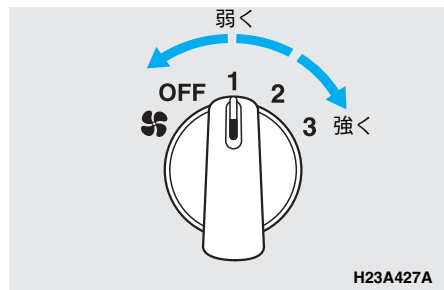
エンジンスイッチが ON のときに使用できます。

各スイッチの使い方

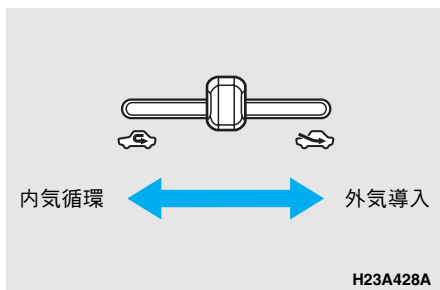
● 温度調整ダイヤル

送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

● 風量調整ダイヤル

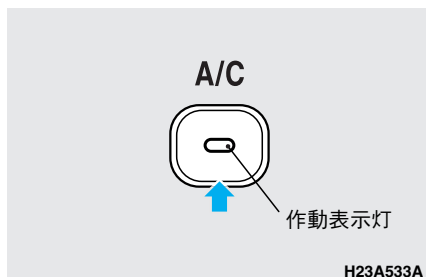
風量を 3 段階に調整できます。
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

● 内外気切り換えレバー

外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。
トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内気循環にします。

－通常走行時
－早く冷房したいときや外気が汚れているとき

注意

- 通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

● エアコンスイッチ

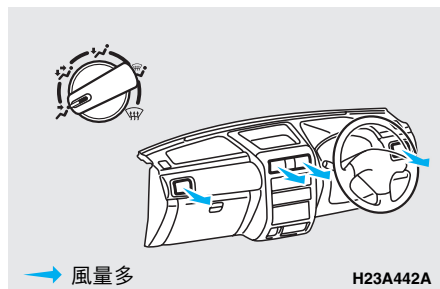
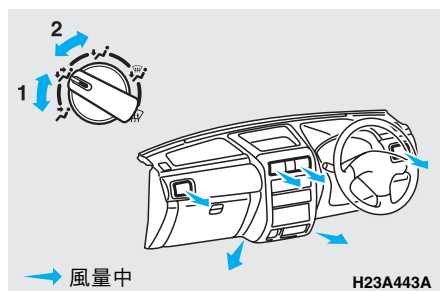
スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

● オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

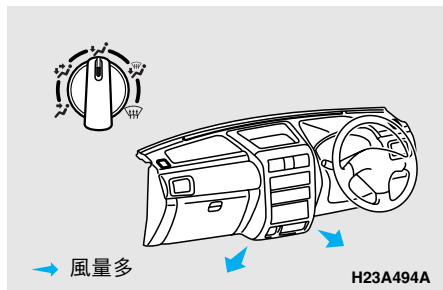
→ 「クリープ現象」P.6-10

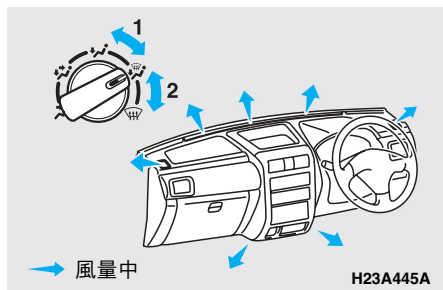
● 吹き出し口切り換えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

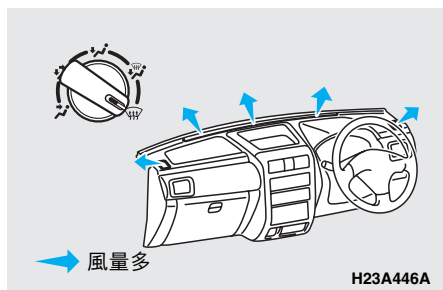
上半身に送風したいとき

上半身と足元に送風したいとき

アドバイス

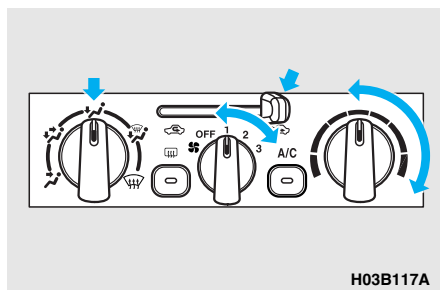
● ダイヤルを（1）の位置にすると上半身へ多く，（2）の位置にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき

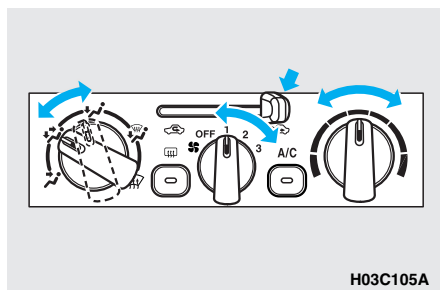
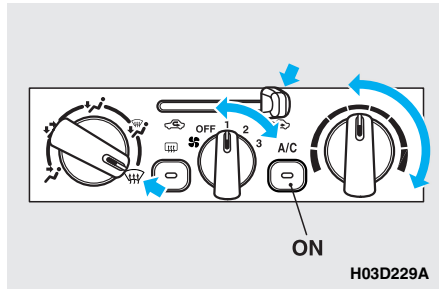
足元とウインドウガラスに送風したいとき

アドバイス

- ダイヤルを（1）の位置にすると足元へ多く，（2）の位置にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

使い方

JH03B-Id

● 暖房したいときは

● 頭寒足熱にしたいときは

JH03C-F

● ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは JH03D-Ub

H03D229A

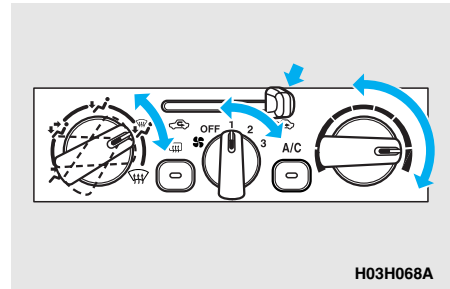
早く曇り，霜を取りたいときは風量調整ダイヤルで風量を最大にし，温度調整ダイヤルで温度を最高に設定して，エアコンを使用してください。

⚠注意

● 窓の曇りを防止するため必ず外気導入でご使用ください。
● 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

アドバイス

● 位置でエアコンを使用しているときは設定温度を最低温度付近にしないでください。ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

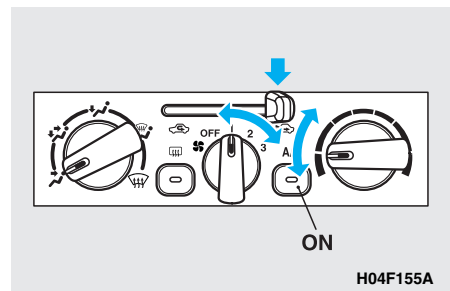
● 暖房と曇り止めを同時にしたいときは JH03H-I

H03H068A

⚠注意

● 窓の曇りを防止するため必ず外気導入でご使用ください。

アドバイス

● エアコンを使用すると除湿効果があります。

● 冷房したいときは JH04F-S

H04F155A

⚠注意

● 内気循環にすると早く冷房されますが，換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

● 換気したいときは JH03E-J

H03E082A

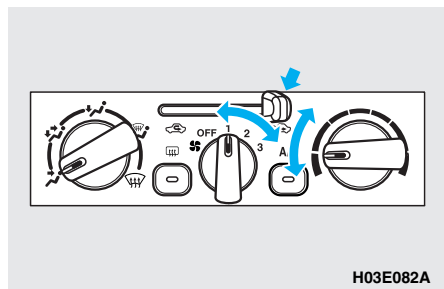
エアコンの上手な使い方

JH04JAN

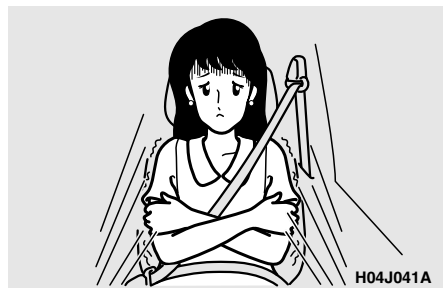
1. 長時間炎天下に駐車したとき車室内の温度は大変高くなります。
   このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。

H04J040A

2. 長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

H04J041A

3. 暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

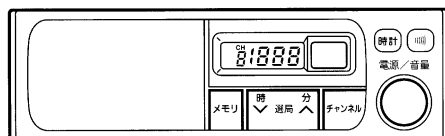
● エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）内に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

● エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

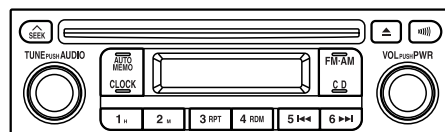
冷媒ガスは新冷媒 HFC-134a(R134a) を使用しています。地球温暖化防止のため，大気放出はしないでください。

オーディオ

AM 電子同調ラジオ
（時計付き）

P. 9- 2

AM/FM 電子同調ラジオ
＆ CD プレーヤー（時計付き）

P. 9- 5

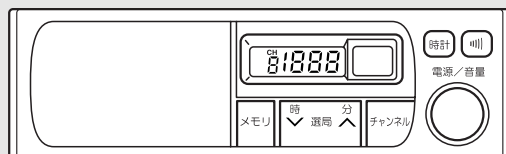
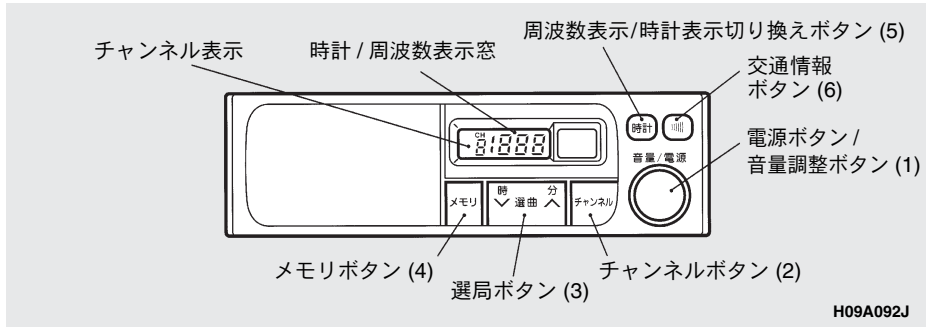
9

● AM/FM 電子同調ラジオ（時計付き）の取り扱いについては，別冊の取扱説明書をご覧ください。

オーディオ

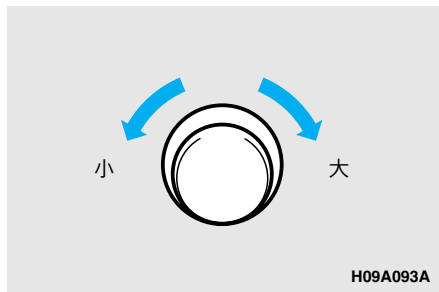
AM 電子同調ラジオ（時計付き）

JH09AAC

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。

音量調整のしかた

JH29B-E

音量調整ボタン（1）で調整します。

⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

9

ラジオを聞くときは

JH29C-H

1. 電源ボタン（1）を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. 選局ボタン（3）を押して聞きたい放送局を選びます。

手動選局をするには

選局ボタン（3）を押します。
- 周波数の高いほうへ選局するときは∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは∨側

自動選局をするには

選局ボタン (3) を約 1 秒以上押し続けます。
- 周波数の高いほうへ選局するときは∧側
- 周波数の低いほうへ選局するときは∨側

アドバイス

● 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

● 放送局を記憶させるときは

6 局を記憶させておくことができます。

1. メモリボタン（4）を押すとチャンネル表示が点滅します。
2. 選局ボタン（3）を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. チャンネルボタン（2）を押し，記憶させたいチャンネルを選びます。
4. 再びメモリボタン（4）を押したらメモリー完了です。
5. 次回からはチャンネルボタン（2）を押すごとにチャンネルが切り換わり，記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

● バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

● 交通情報を聞くときは

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタン（6）を押すと交通情報局（1620kHz）を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

● 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。

時計 / 周波数表示窓

JH29E-D

通常は，時計表示となっています。
ただし，ラジオの電源を入れたときや選局ボタン，メモリボタン，チャンネルボタン，交通情報ボタンを押したときは一時的に周波数表示に切り換わります。

ラジオ使用時に常に周波数表示にしておきたいときは，周波数表示 / 時計表示切り換えボタン（5）を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

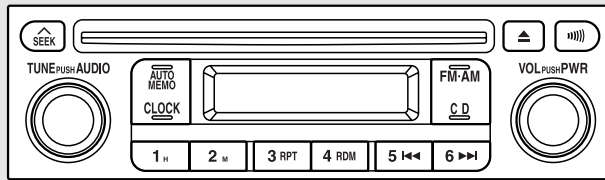
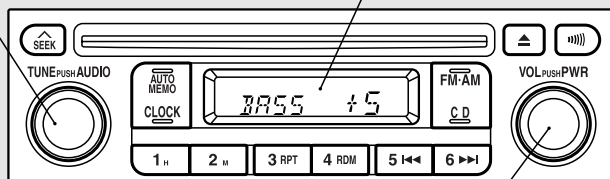
時計の表示または調整については，室内装備の「時計」の項をご覧ください。

→「時計」P.7-5

AM/FM 電子同調ラジオ＆ CD プレーヤー（時計付き）

JH29AAY

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON または ACC のときに使用できます。

音量・音質調整のしかた

JH29B-Z

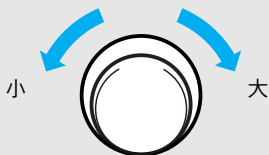
● 音量調整

音量調整スイッチ（1）で調整します。
調整状態は周波数表示窓に表示されます。

注意

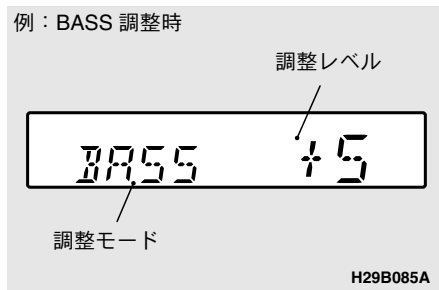
● 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

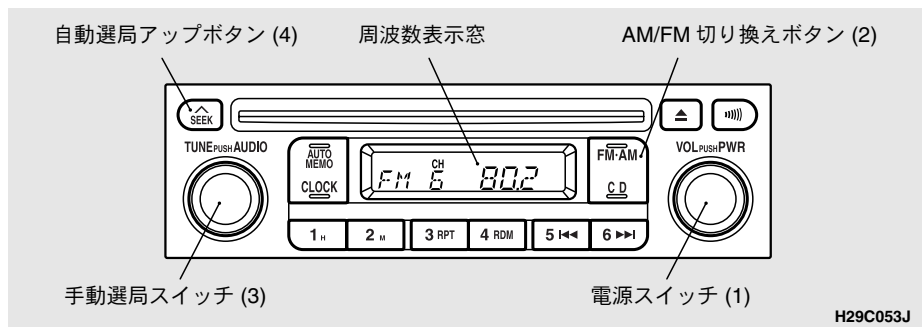
● 調整終了後，約 2 秒後に元の表示に戻ります。
音量調整スイッチを回して 2 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

● 音質・音量バランス調整

JH29BAA

音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド調整スイッチ（2）を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはスイッチを押すごとに切り換わり，周波数表示窓に表示されます。
   BASS（低音）→ TRE（高音）→ FADE（前後音量）→ BAL（左右音量）→調整モード解除
2. サウンド調整スイッチ（2）を左右に回してお好みに合わせて調整します。
   調整状態は周波数表示窓に表示されます。

モード表示	調整レベル範囲	サウンド調整スイッチ操作	
		反時計回りに回す	時計回りに回す
BASS	-6 ～＋ 6	弱くなる	強くなる
TRE	-6 ～＋ 6	弱くなる	強くなる
FADE	F6 ～ R6	F（前側）大	R（後側）大
BAL	L6 ～ R6	L（左側）大	R（右側）大

アドバイス

- 調整レベルが“0”（センター位置）のときに，音が“ピッ”と鳴ります。
- 調整終了後，約 7 秒後に元の表示に戻ります。
  サウンド調整スイッチ（2）を操作して 7 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。
- FADE（前後音量）調整位置を中央位置にしておいてください。リヤスピーカーが接続されていないため，R（リヤ）側に調整すると，音が出なくなるおそれがあります。

ラジオを聞くときは

JH29CAD

1. 電源スイッチ（1）を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FM 切り換えボタン (2) を押します。ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり，ラジオの状態のときはAM/FM が切り換わります。
3. 手動選局スイッチ（3）を回すか，自動選局アップボタン（4）を押して聞きたい放送局を選びます。

手動選局をするには

手動選局スイッチ（3）を左右に回します。

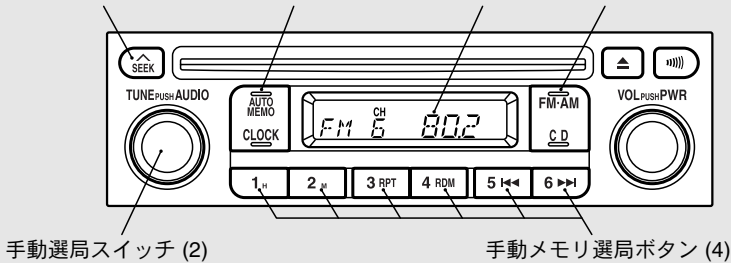
- 周波数の高いほうへ選局するときは時計周りに回す
- 周波数の低いほうへ選局するときは反時計周りに回す

自動選局をするには

自動選局アップボタン（4）を押します。
周波数の高いほうへ選局します。

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。

9

● 放送局を記憶させるときは

手動で記憶させるときは

自動で記憶させた放送局とは別に AM，FM 放送局を各 6 局まで記憶させることができます。

1. AM/FM 切り換えボタン（1）を押して，AM または FM 放送を選びます。
2. 手動選局スイッチ（2）を回すか，自動選局アップボタン（3）を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. 手動メモリ選局ボタン（4）［1 ～ 6］のいずれか 1 つを押し続け，ピッという音がしたらメモリー完了です。周波数表示窓には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からは手動メモリ選局ボタン（4）を軽く押すと，そのボタンにメモリーされている放送局を受信します。

アドバイス

● 選局ボタン 1 つにつき AM1 局，FM1 局の 2 局を記憶することができます。
● バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

自動で記憶させるときは

手動で記憶させた放送局とは別に受信可能な AM，FM 放送の各 8 局を受信状態の良好な順に自動で記憶することができます。
周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

1. AM/FM 切り換えボタン（1）を押して，AM または FM 放送を選びます。
2. オートメモリ選局ボタン（5）をピッという音がするまで押し続けます。

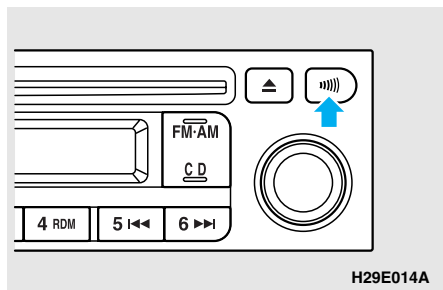
アドバイス

● 受信可能な放送局をさがしている間は周波数表示窓に“A”文字が表示されます。受信可能な放送局がないときは“— — —”と表示されます。

3. 次回からはオートメモリ選局ボタン (5) を軽く押すごとに記憶されている放送局を低い周波数から順に受信します。

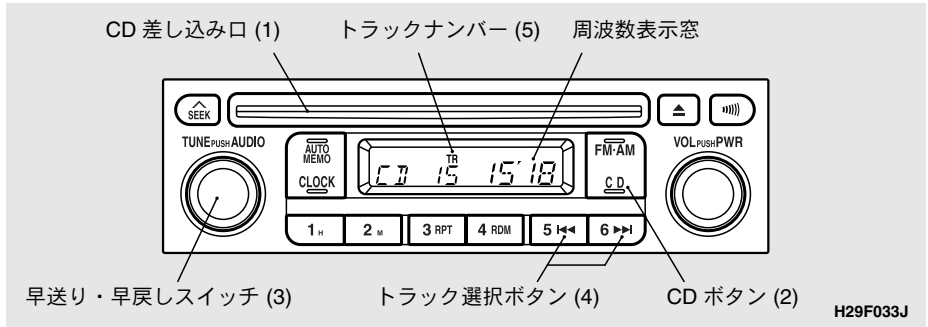
アドバイス

● 受信可能な放送局が 8 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
● バッテリー端子を長い間外したときは記憶が取り消されます。

9

● 交通情報を聞くときは

交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局（1620kHz）を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に1629kHzの交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

CD を聞くときは

JH29F-K

ディスクのラベル面を上にして CD 差し込み口（1）に入れ，軽く押し込むと再生が始まり，周波数表示窓に“CD”を表示します。
他のモードから CD に切り換えたいときは，CD ボタン（2）を押してください。

アドバイス

- CD シングル（8cm ディスク）はアダプターなしでそのまま使用できます。差し込み口のほぼ中央から差し込んでください。

● 早送り，早戻しをするときは

再生中，早送りするときは早送り・早戻しスイッチ（3）を時計回りに回します。
再生中，早戻しするときは早送り・早戻しスイッチを反時計回りに回します。

スイッチを回している間，早送り，早戻しとなります。

● 頭出しをするときは

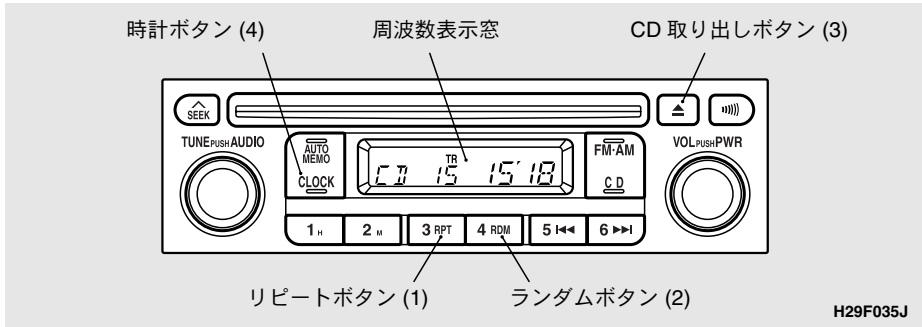
トラック選択ボタン（4）を押して聞きたい曲のトラックナンバー（5）を選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加

I◀◀ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンの側を 1 回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス

- トラック選択ボタン（4）を押すごとに周波数表示窓のトラックナンバー（5）が変わります。

● 同じ曲を繰り返し聞くときは

再生中，リピートボタン（1）を押して周波数表示窓に“RPT”を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

● ランダムな曲順で聞くときは

ランダムボタン（2）を押します。周波数表示窓に“RDM”と表示されます。再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選局し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

● CD を取り出すときは

CD 取り出しボタン（3）を押します。
CD モードのときボタンを押すと自動的に CD が出てラジオモードに切り換わります。

表示を切り換えるときは JH29E-P

通常は，時計表示となっています。
ただし，電源を入れたときや何らかのオーディオ操作（オーディオ調整操作，ラジオ操作および CD 操作）をしたときは，一時的に各モード表示に切り換わります。
ラジオモード（および CD モード）時に常に周波数表示（および CD 走行表示）にしておきたいときは，時計ボタン（4）を軽く押してください。
もう一度押すと時計表示に戻ります。

時計

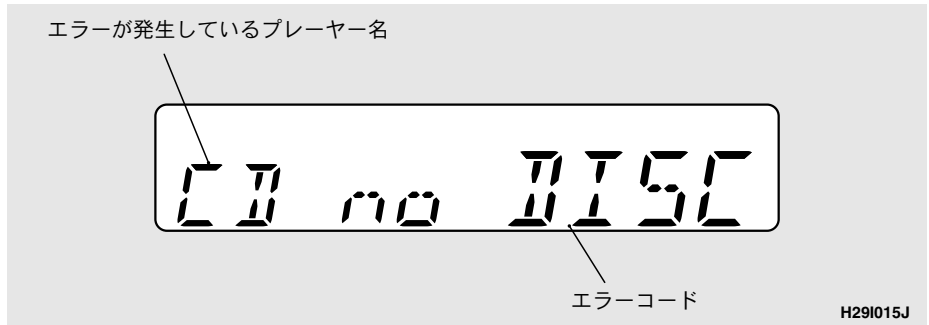
時計の表示または調整については，室内装備の「時計」の項をご覧ください。

→「時計」P.7-5

エラーコード

JH29I-K

周波数表示窓にエラーコードが表示されたときは，下表にしたがってください。

AM/FM 電子同調ラジオ＆ CD プレーヤー

エラーコード	原因	処置
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
E HOT	プレーヤー，またはチェンジャー内部が高温になっている。(再生が一時中断となる。)	しばらく放置してください。温度が適温に戻るとエラーコードが消え，自動的に再生されます。
E 01 E 02	主にディスクの異常	ディスクを数枚交換してください。 • 特定のディスクのみのエラー表示 →ディスクの傷，汚れなどが原因(異常ディスクの使用を止めてください。) • 全ディスクでエラー表示 →機器内部の結露，汚れなどが原因(数時間後も全ディスクでエラー表示する場合は，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。)
E 03 E	主に機器側の異常	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

オーディオの上手な使い方

JH12I-W

1. エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
2. 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
3. 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
4. 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがありますが，オーディオの故障ではありません。
   この場合は，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
5. 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。

コンパクトディスクの取り扱い

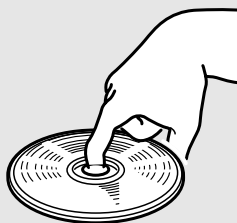
1. 寒いときのヒーターを入れた直後など，急に温度が上がると，ディスクやオーディオ内部に露（水滴）が付いて正常に作動しないことがあります。このような場合には，しばらく待ってからご使用ください。
2. 悪路走行などで激しく振動した場合，音とびすることがあります。
3. 必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温，多湿の場所などに置かないでください。

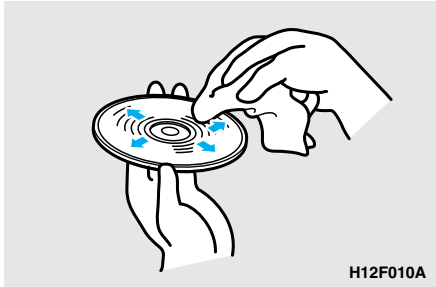
コンパクトディスクについて

1. このプレーヤーは下のマークのついた CD 以外は使用できません。
   下のマークのついた CD でも，CD-R/RW ディスクは CD ディスクに比べてディスクの反射率が若干低いため，使用できない場合があります。

H12F008A

   ハート型，八角形など JIS 規格に合致しない特殊形状のディスクを使用するとプレーヤーの故障原因になります。

2. ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ，音が悪くなる場合がありますので，必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。

H12F009A

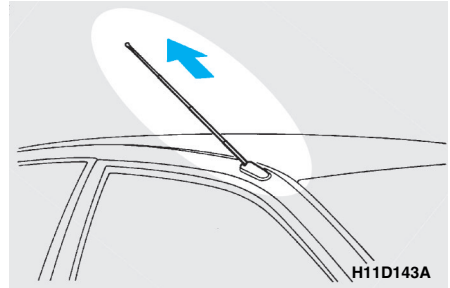
3. 汚れを取るときは，やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン，シンナー，レコードスプレー，帯電防止剤，化学ぞうきんなどは使用しないでください。

H12F010A

4. ヒビがはいったり，大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
5. ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり 紙やシールなどを貼りつけないでください。

アンテナ

JH11DBB

ラジオを聞くときはアンテナを手でいっぱいに伸ばしてからお聞きください。

H11D143A

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため，必ずアンテナを格納してください。
  - 天井の低い所へ入るとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき

簡単な整備・車のお手入れ

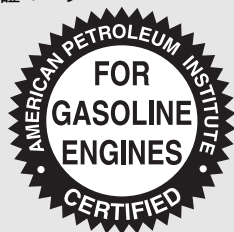
10

エンジンオイルの補給

JM03C-Zb

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶に ILSAC 認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P.1-4
→「エンジンオイルの銘柄」P.13-2

ILSAC 認証マーク

M03A109A

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイル量の点検，補給方法，交換時期は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

アドバイス

- 外気温が低いとき，エンジンオイル注入キャップおよび注入口の内側にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
これは，エンジン内部の水蒸気が冷やされて水滴となり，エンジンオイルと混ざることにより発生するもので，外気温の上昇，エンジンオイルの暖機が進むことにより水分は蒸発し解消します。この現象によるエンジンオイルの変質はなく，そのまま使用しても問題ありません。

燃料噴射装置の洗浄

JM04A-Aa

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

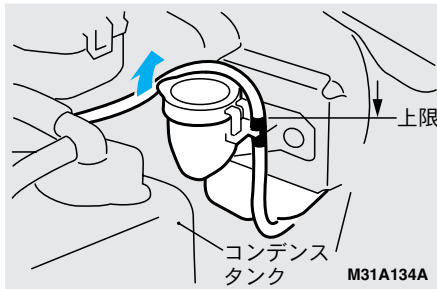
アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，洗浄剤は 15,000km または 1 年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

JM31BAL

● フロント・リヤ用

ウォッシャー液が不足している場合は，補給します。
ホース内の液の位置で液量を点検します。
ホースのテープ上端位置が上限です。

> **アドバイス**
> ● ウォッシャータンクはフロント・リヤ共用です。

ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

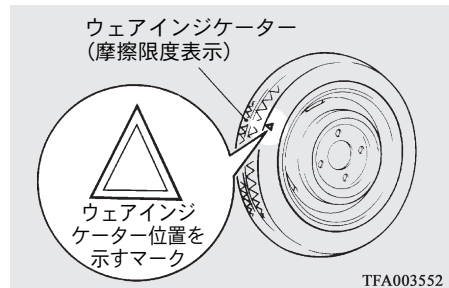
使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液 1 に水 2	− 10 ℃程度
寒冷地の冬期	原液 1 に水 1	− 20 ℃程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	− 50 ℃程度

> **⚠注意**
> ● 冬季はウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

> **アドバイス**
> ● ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

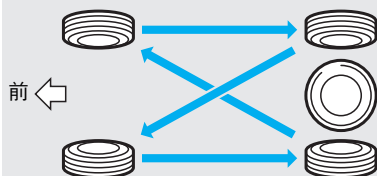
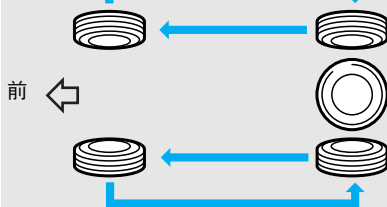
タイヤの摩耗

JM32B-AA

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

> **アドバイス**
> ● ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤローテーション

JP13AAI

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤのかわりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。
- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4 輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。
  矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

10

車のお手入れ

内装品のお手入れ JK23A-DA

水，洗剤を使用後はよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させてください。

アドバイス

- ベンジン，アルコール，ガソリンなどの有機溶剤および酸やアルカリ性の溶剤を使用すると，表面が変色または色おちするおそれがあります。お手入れには，必ず中性洗剤を使用してください。

プラスチック，ビニールレザー，布材，植毛部品 JK24A-A

1. 中性洗剤の3%水溶液をガーゼなどの柔らかい布に含ませて軽くふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

カーペット材 JK25A-J

1. 電気掃除機でほこりを取り除きます。
2. 中性洗剤の3%水溶液をガーゼなどの柔らかい布に含ませて軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

液体芳香剤について

JK23C-Ba

液体芳香剤はその成分によっては樹脂部品，布材の変色，ひび割れをおこすことがあります。
液体芳香剤はこぼれないよう容器を確実に固定してください。
また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。

外装品のお手入れ JK28A-Cd

1. お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
2. つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。
   - 海水・道路凍結防止剤など
   - 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
   - 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など
3. 下回りやホイールを洗うときは，けがをしないようにゴム手袋などをご使用ください。

洗車のしかた JK22ABLc

1. 車体の下回りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れは，中性洗剤で洗い，さらに水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは水で十分洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落としてください。
   ワックスは三菱自動車純正品の使用をおすすめします。
5. セーム皮か柔らかい布で塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。

アドバイス

- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下回りを洗車するときもエンジンルーム内に水が入らないように注意してください。
  エンジン始動不良等の原因となります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めることがありますので使用はできるだけひかえてください。とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。車体樹脂部品の熱変形，破損，および接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入など起こる場合がありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約 40cm 以上）
  - ドアガラス回りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離してください。（約 60cm 以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナおよびドアミラーを格納してください。

ワックスのかけ方　JK33A-Ka

1. 月に 1 ～ 2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
2. 洗車後，塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
   しみの原因になります。
3. 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。

アドバイス

- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りワックスを使用すると汚れ落ちはよくなりますが，塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因となります。また使用した布に色が付着することがあり，とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると色ムラなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  万一付着したときは，すみやかに温水を用い柔らかい布でふき取ってください。
- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないように注意してください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

JK10A-Cf

ワイパーのふきが悪くなったときはウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。
ウインドウガラス洗浄剤は三菱自動車純正品の使用をおすすめします。

アドバイス

● リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

JK17A-B

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

● ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

樹脂部品のお手入れ

JK29AAUa

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。万一ワックスが付着したときは温水を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ってください。

アドバイス

● たわしなどの硬いものは表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
● コンパウンド（研磨剤）入りワックスは樹脂の表面を傷つけるおそれがあるので使用しないでください。
● ガソリン，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，シミ，ひび割れの原因となりますので絶対に避けてください。万一付着したときはすみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布，またはセーム皮などでふき取ります。その後すみやかに十分水洗いをしてください。

塗装の補修

JK08A-C

飛び石や引っかき傷などは腐食の原因となります。見つけたら早めに三菱純正タッチアップペイントで補修してください。

寒冷時の取り扱い

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 JL30A-T

● エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。

→「エンジンオイルの粘度」P.13-2

冬期はエンジンオイルの劣化が早くなります。冬期に市街地走行や短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）で走行するときは，通常より早めに交換してください。

● 冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50％にします。

● ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を 50％以上にします。

→「ウォッシャー液の点検・補給」P.10-3

● バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

● タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは, 4 輪とも交換します。

→「タイヤ交換のしかた」P.12-12

地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例にしたがってください。

● 燃料タンクの水抜き

三菱自動車純正品の水分除去剤を使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の水分除去剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  また，寒冷時には水分が凍結するおそれがありますので，寒くなる前にご使用ください。

● ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。

寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

JL30B-M

日常点検時につぎの点検を追加してください。

● ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

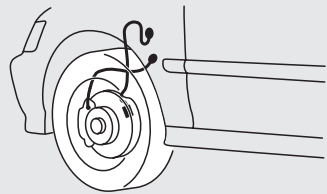
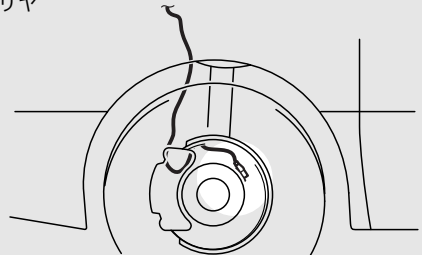
アドバイス

- 冬期にワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P.8-7
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

● 足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

● ドアの凍結

ドアが凍結したときは無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

● キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

● 車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

● ペダル，ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道，凍結路の走行 JL30C-AC

● 暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いになります。環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

● 雪道や凍結した道路はスリップに注意

1. 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または 4 輪とも冬用タイヤに交換してください。
2. 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

● 車間距離は十分に

雪道，凍結路では路面のグリップ力が低下するため，ブレーキの効きが悪くなります。

● フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

● ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

● 洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車 JL30D-Ad

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを 1 速またはⓇ，オートマチック車はセレクターレバーをⓅに入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。

タイヤチェーン JL23AQUd

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。四輪駆動車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンはタイヤに合ったサイズのものを使用してください。

<table>
<tr><th>タイヤサイズ</th><th colspan="2">適合タイヤチェーン</th></tr>
<tr><td>145/80R12 74S</td><td>JIS チェーン 45170</td><td rowspan="2">三菱純正簡易装着チェーン（特殊合金鋼製）三菱純正スーパーサイルチェーン（樹脂製）</td></tr>
<tr><td>155/70R13 75S</td><td>JIS チェーン 45171</td></tr>
</table>

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクした場合は後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- ホイールカバーはチェーンにより傷がつきますので取り外してください。
→ P.12-15
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h 以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

JIS タイヤチェーンの取り付け方

1. 駐車ブレーキを十分にかけ，チェーンを装着するタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをかけます。

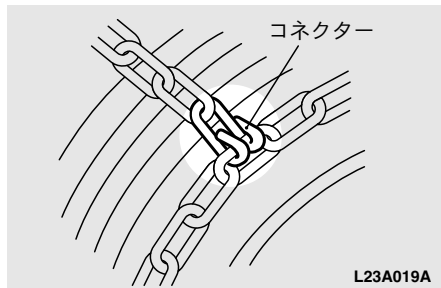
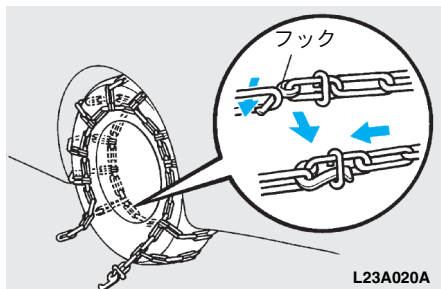
アドバイス

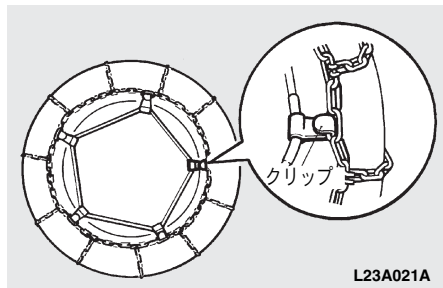
- 輪止めは三菱自動車販売会社でお買い求めください。

2. 車をジャッキアップします。→ P.12-9

⚠警告

- 凍結した路面でジャッキアップすると，ジャッキが外れ，重大な事故につながるおそれがあります。
凍結していない路面でジャッキアップをしてください。
- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，車の下に潜り込んだり，のぞき込まないでください。
重大な事故につながるおそれがあります。

3. コネクターの折り曲げ部が外側になるようにしてチェーンをタイヤにかぶせます。

4. タイヤチェーンの両端をいっぱいに引っ張りゆるみがないように内側のフックから先に連結します。

5. 余ったチェーンはボデーなどに当たらないように針金などで確実に固定します。

6. チェーンバンドのクリップの爪を外向きにして等間隔に取り付けます。

7. ジャッキを下げ，輪止めを外します。
8. しばらく走行（約 500m）して，ゆるみがないか点検します。
   ゆるんでいるときは，フックをつぎのチェーンにかけ直してください。

⚠注意

● 走行中異音がする場合は，ただちに車を安全な場所に止め，タイヤチェーンの装着状態を確認してください。

JIS タイヤチェーンの取り外し方

1. チェーンバンドを取り外し，チェーンを固定した針金なども外します。
2. フックを内側から先に外します。
3. 車を少し動かしてチェーンを取り出します。

もしものときの処置

もしものときの処置

走行中に警告灯が点灯したときは！

JN50AAFb

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

充電警告灯	充電系統の異常が考えられます。	参照ページ → P.5-6

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。
点検後も消灯しないようなら，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

		参照ページ
油圧警告灯	エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力の低下が考えられます。 エンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。	→ P.5-6
ブレーキ警告灯	駐車ブレーキをかけたままか，ブレーキ液量の不足が考えられます。 駐車ブレーキが戻してあることを確認してください。 駐車ブレーキが戻してあっても点灯するときは，ブレーキ液量を点検してください。	→ P.5-7

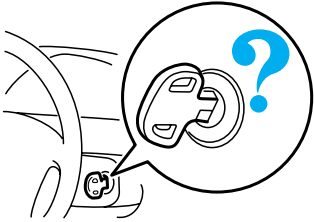
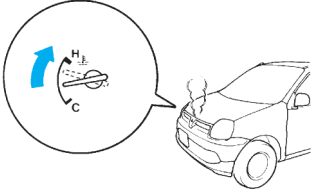
12

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

JN50ARPd

		参照ページ
エンジン警告灯	エンジン制御装置の異常が考えられます。 エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてください。	→ P.5-7
ABS 警告灯	システムの異常が考えられます。	→ P.6-19
SRS SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯	システムの異常が考えられます。	→ P.4-13 → P.4-24

こんな音が聞こえたときは！

JN50B-Hb

N50B003J

現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音（ピピッ，ピピッ）がする。	「キー抜き忘れ防止ブザー」→ P.3-3 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くとブザーは止まります。
運転席ドアを開けたら音（ピー）がする。	「ヘッドライトオートカット機能（自動消灯）」→ P.5-8 ヘッドライトを消し忘れています。 しばらくするとブザーは止まり，ランプ類が自動的に消灯します。
車を後退しようとしたら，断続的に音（ピーピー）がする。	「セレクターレバーの位置・働き」→ P.6-9 セレクターレバーが Ⓡ に入っています。 後退後セレクターレバーの位置を変えればブザーは止まります。
走行中，ブレーキを踏むとタイヤのブレーキ付近から金属摩擦音（キーキー）がする。（13 インチディスクブレーキ車）	「ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！」→ P.12-22 ブレーキパッドが使用限度近くまで摩耗しています。 三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

こんなことでお困りのときは！

JN50CQPa

現象	処置
キーが回らない。	LOCK から ACC に回らない ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 ACC から LOCK に回らない 〔オートマチック車〕 セレクターレバーが P に入っているか確認してください。 〔マニュアル車〕 ACC の位置でキーを押しながら，LOCK まで回してください。
セレクターレバーが P から動かない。 （オートマチック車）	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバーを操作してください。 エンジンスイッチが ON になっているか確認してください。
雨の日，湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」 → P.8-7
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない，暗い。 ホーンが鳴らない，音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは！」→ P.12-16
水温計の針が「H」表示部に近づいている。 エンジンルームから蒸気が出ている。	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは！」→ P.12-18

もしものときの処置

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 （ぬかるみ，雪道，凍結路などの発進時）	1. 毛布か布などがある場合は，それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにし，ゆっくりとアクセルペダルを踏みます。 2. 何も滑り止めにするものがない場合は，セレクターレバーを Ⓓ と Ⓡ の間（マニュアルトランスミッションの場合は ❶ と Ⓡ の間）で交互に動かして車の反動を利用して脱出します。 **⚠注意** ● 車の反動を利用して脱出するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。 ● ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの三菱自動車販売会社まで運転し，点検を受けてください。 発進しにくいときは ❷ に入れて発進し，その後は Ⓓ に戻して走行してください。 （故障の内容によってはこの方法でも効果がない場合もあります。）
パンクした。	1. あわてずに，ハンドルをしっかり持ち，安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P.12-12

故障したときは！ JN40B-Ec

● 一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで表示します。

● 高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

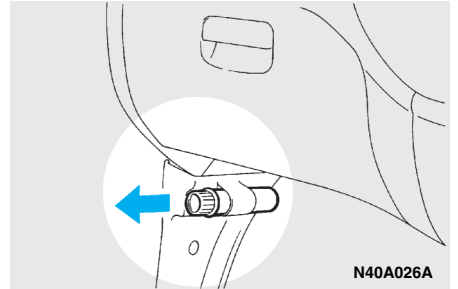
- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！ JN40A-Ae

高速道路や踏切などで故障したときに使用します。発炎筒はグローブボックス左下部に備えつけてあります。
使用したときや期限切れのときは三菱自動車販売会社でお買い求めください。発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

N40A026A

警告

- お子さまには発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなどの燃えやすいものの近くでは火災をまねくおそれがありますので使用しないでください。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約 5 分ですので非常点滅灯を併用してください。

→「非常点滅灯スイッチ」P.5-14

エンストしたときは！ JN40C-M

走行中にエンストしたときは

運転操作に変化がおきますのでつぎの方法で車を安全な場所に止めてください。

1. ブレーキ倍力装置が働かなくなりますので，ブレーキの効きが悪くなります。通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
2. パワーステアリング装置が働かなくなりますので，ハンドル操作が重くなります。通常よりハンドルを強く操作してください。

エンストして始動できなくなったときは

1. 同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
2. 踏切内でエンストしてすぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が来そうになったり，緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。

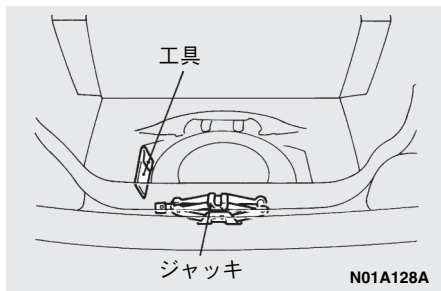
アドバイス

- マニュアル車，オートマチック車ともエンジンスイッチを START の位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

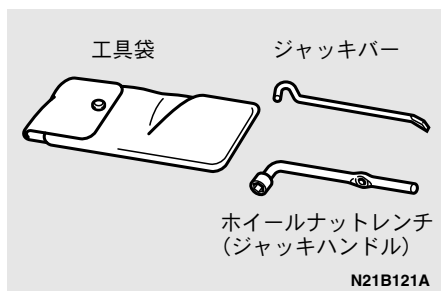
→「エンジンをかける前に」P.6-3

工具とジャッキ JN01B-Ga

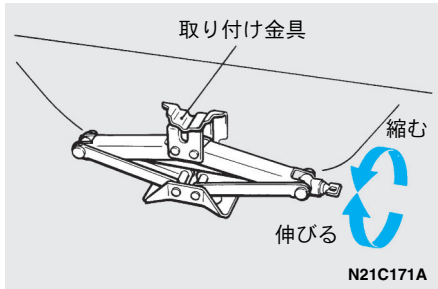
格納場所

ラゲッジルームに格納されています。

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
室内などに放置すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ジャッキはタイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具 JN21BBH

ジャッキの脱着

JN21C-Q

取り出すときは，ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します。
格納するときはジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は万一の場合困らないようあらかじめ確認しておきましょう。
- 高速道路で故障などにより停止するときは，停止表示器による表示義務があります。停止表示器を常時携帯するようにしましょう。

ジャッキアップのしかた

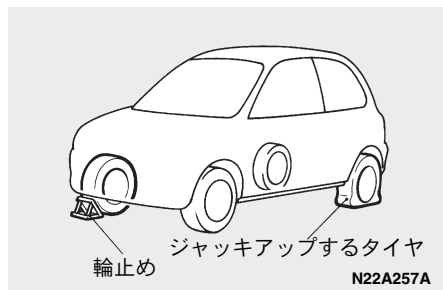
JN22A-Ph

警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れた場合，重大な傷害を受けるおそれがあります。

注意

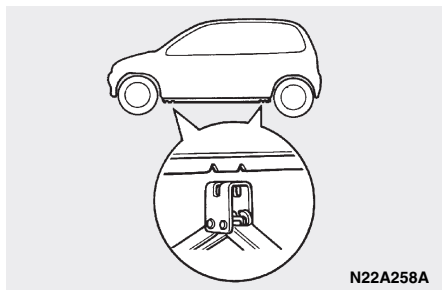
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人は車内に残らず車から降りる。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物をはさまない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーを Ⓡ に入れます。
   オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ に入れて，エンジンを止めます。
4. 非常点滅灯を点滅させ，停止表示板を車両後方に置き，同乗者を降ろします。
5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止めをします。
   - 前輪のときは後輪の後ろ側
   - 後輪のときは前輪の前側

⚠注意

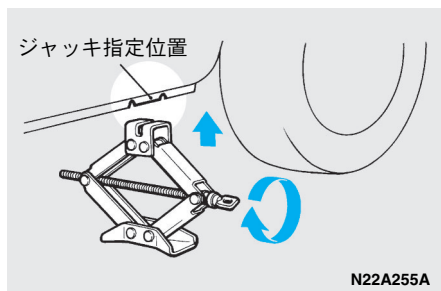
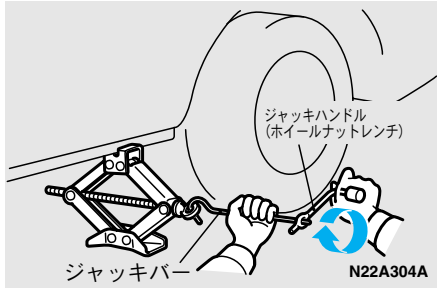
- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一ジャッキアップ中に車両が動いた場合，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.12-8
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

⚠警告

- ジャッキをセットするときは，指定された位置以外にかけないでください。
  指定された位置にかけないと車体がへこんだり，ジャッキが倒れて重大な傷害を受けるおそれがあります。

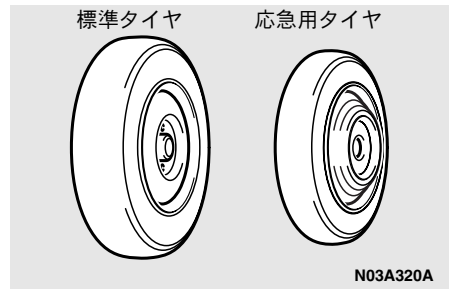
8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

9. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を回します。

⚠注意

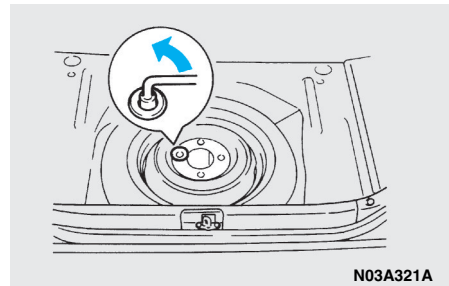
- ジャッキはタイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使わないでください。また，車載以外のジャッキは使用しないでください。
- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。

スペアタイヤ

JN43A-Eb

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。

応急用スペアタイヤの取り出し方

応急用スペアタイヤはラゲッジルームに格納されています。
ホイールナットレンチで固定用ボルトを左に回して外しタイヤを取り出します。

格納するときは逆の手順で取り付けます。

⚠注意

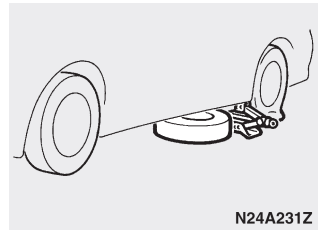
- 応急用スペアタイヤを装着したときは, 80km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。
  特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用品です。他のタイヤやホイールと組みあわせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。
- 空気圧は, 定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  空気圧が不足している場合はもよりの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
  →「タイヤの空気圧」P.13-8

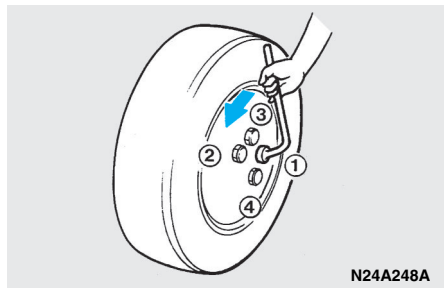
タイヤ交換のしかた JN24AQPf

● タイヤを取り外すときは

1. 工具，スペアタイヤ，ジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P.12-8,
   「スペアタイヤ」P.12-11

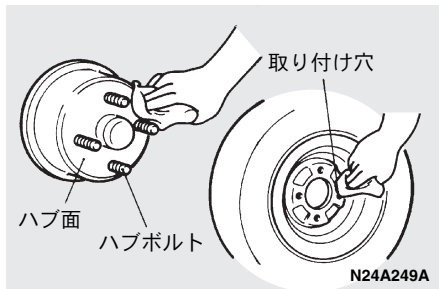
アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは万一ジャッキが外れたときのためジャッキ近くの車体の下に置いてください。

N24A231Z

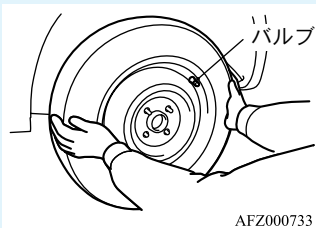
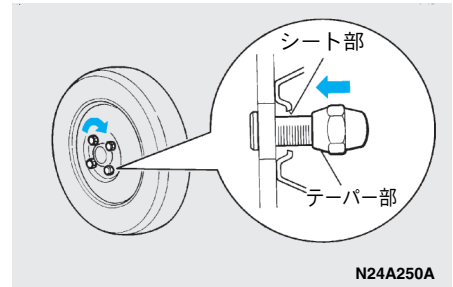
2. ホイールカバー付き車はホイールカバーを外します。
   →「ホイールカバー」P.12-15
3. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P.12-9
4. ホイールナットレンチでホイールナットを番号順に手で回るくらいまでゆるめます。

N24A248A

5. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
6. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

● タイヤを取り付けるときは

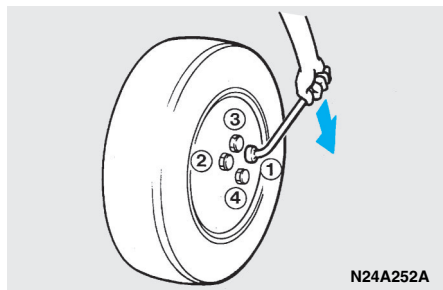
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

● タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

3. 手でホイールナットを右へ回して，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

⚠注意

● ハブボルト，ホイールナットには油を塗らないでください。
ネジ部，ディスクホイールなど損傷の原因になります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを下げ，ホイールナットを番号順に 2 ～ 3 回に分けて，徐々に締め付けます。
   最後の締め付けは確実に行ってください。

   締め付けトルク：
   88 ～ 108N・m ｛9 ～ 11kgf・m｝
   （車載のホイールナットレンチの先端で 350 ～ 420N ｛約 35 ～ 42kgf｝ の力）

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. ホイールカバー付き車はホイールカバーを取り付けます。
   →「ホイールカバー」P.12-15
6. タイヤの空気圧を点検します。
   →「タイヤの空気圧」P.13-8
7. 工具，ジャッキを元の位置に戻します。
   →「工具とジャッキ」P.12-8
8. 交換したタイヤをラゲッジルームに格納します。

⚠注意

- 応急用スペアタイヤは標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。パンクしたタイヤはできるだけ早く修理して標準タイヤに戻してください。
- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 異なった種類のタイヤを混ぜたり，指定サイズ以外のタイヤを使用することは車の安全性を損ないますので避けてください。

アドバイス

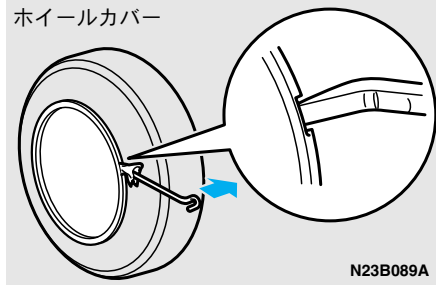
- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けてゆるみがないことを点検してください。

ホイールカバー

JN23BAL

タイプ別装備

取り外すときは

ジャッキバーの先に布をかぶせてホイールカバーの切り欠き部へ深く差し込み，タイヤ側にこじながら取り外します。

取り付けるときは

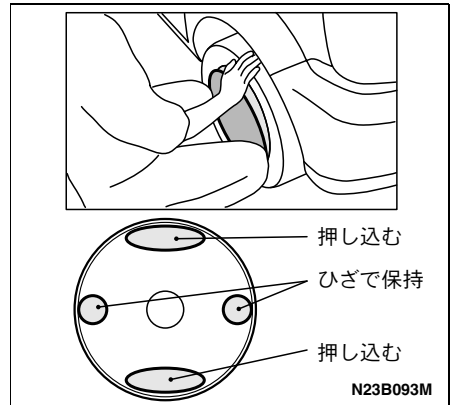
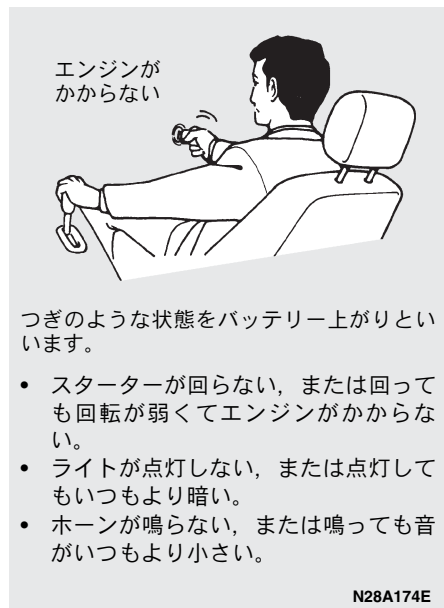
1. タイヤのバルブ（空気注入口）とホイールカバーの切り欠き部を合わせます。
2. ホイールカバーの下部をホイールに押し込みます。
3. ホイールカバーの両端を軽く押し込み，両ひざで保持します。
4. ホイールカバーの上部を外周に沿って軽くたたいて押し込みます。

バッテリー上がりのときは！

JN28ABQ

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない，または回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない，または点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない，または鳴っても音がいつもより小さい。

N28A174E

ブースターケーブル（別売）を使って他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

● 救援車を依頼してブースターケーブルを使ってエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

● 救援車は必ず12Vで自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキをかけ，マニュアル車はシフトレバーを Ⓝ に，オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ にし，エンジンスイッチを LOCK まで回してエンジンを止めます。

⚠警告

● ブースターケーブルの接続時には救援車のエンジンも止めてください。
ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれてけがをするおそれがあります。

● 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中はファンに手を近づけないでください。

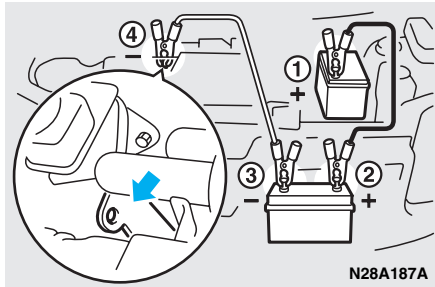
4. バッテリー液量を確認してください。

⚠警告

● バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

● バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ① 自車のバッテリーの＋端子
   ② 救援車のバッテリーの＋端子
   ③ 救援車のバッテリーの－端子
   ④ 自車のエンジンハンガー

⚠警告

● 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
● ④の接続は必ずエンジン本体にしてください。バッテリーの－側に直接つなぐとバッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
● ブースターケーブルを接続するときは＋と－端子を接触させないでください。火花が発生しバッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

● ブースターケーブルのクリップは確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● バッテリーの＋端子はカバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
● ブースターケーブルはバッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因となることがあります。
● ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジン回転数を少し上げてバッテリー上がりの車のエンジンをかけます。
7. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときの逆手順で取り外します。
8. もよりのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

● バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因となることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電する場合は，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
● 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており爆発するおそれがあります。
● 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
● 充電するときはすべてのキャップを外してください。
● バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因となります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

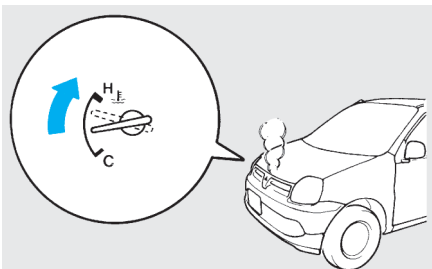
⚠注意

- 押しがけによりエンジンをかけることは行わないでください。特にオートマチック車はマニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

アドバイス

- ABS 装着車は充電が不十分のまま，車を発進させるとエンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。→「アンチロックブレーキシステム」P.6-18

オーバーヒートしたときは！

JN26B-K

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり, エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

N26A230E

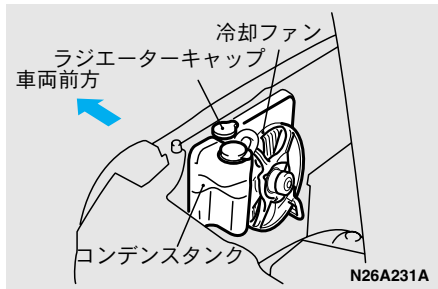
1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

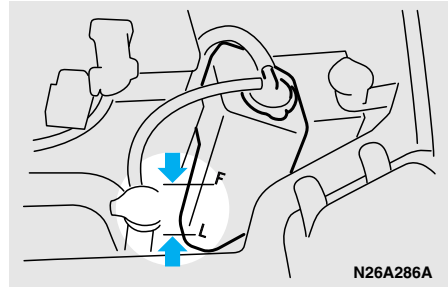
● エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフードを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフードを開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

⚠警告

● 冷却ファンに手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

● ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却し，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから冷却水の有無を点検します。

⚠警告

● 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっていますので冷却水の温度が高いときにキャップを外すと蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

JN25AQPf

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。また，異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

⚠注意

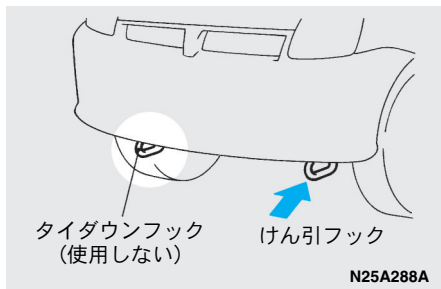
- オートマチック車はトランスミッションオイルが不足していると，トランスミッションが破損するおそれがあります。その場合は必ず 4 輪とも持ち上げてレッカー車で搬送してください。
- 4WD 車は，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，4 輪接地の状態でけん引してください。
- 駆動系部品が故障したと思われる場合（車輪が動かない，異音がするなど）は，必ずつぎのように処置してください。
  - 2WD 車は，駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引してください。
  - 4WD 車は，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

やむをえず他車にロープでけん引してもらうときはつぎの要領で行ってください。

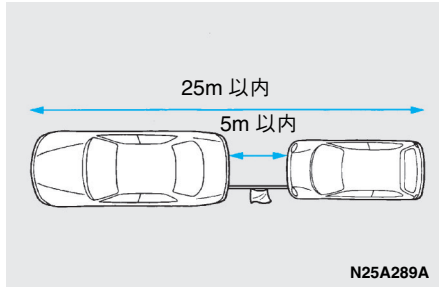
他車にけん引してもらうとき

1. けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。

⚠注意

- タイダウンフックは車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。
  けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。

アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，ボデーを傷つけるおそれがあります。

2. けん引ロープには30cm平方（タテ30cm ×ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。

⚠注意

- エンジンが止まっていると，ブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。
- LOCK 位置ではキーが抜けるとハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

4. シフトレバー（セレクターレバー）を Ⓝ にしてください。
5. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。

→「非常点滅灯スイッチ」P.5-14

⚠警告

- けん引される車のエアコンは内気循環に切り換えてください。車内に排気ガスが侵入し，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂では，ブレーキの過熱により効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- オートマチック車をけん引するときの速度は 30km/h 以下，けん引する距離は 30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

他車をけん引するとき

アドバイス

- 他の車をけん引することはできません。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ JN08B-Hb

13 インチディスクブレーキ車には，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！ JN38B-A

エンジン回転数が不安定になったときは，つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. オートマチック車はセレクターレバーを Ⓟ に，マニュアル車はシフトレバーを Ⓝ に入れて，エンジンを止めます。
3. 再度，エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 水温計の中間近くで指針が安定するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し，再度エンジンを始動します。
7. 約 10 分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは！

JN09A-KA

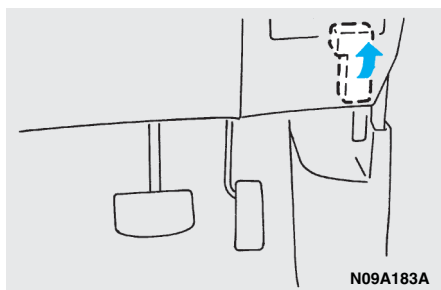
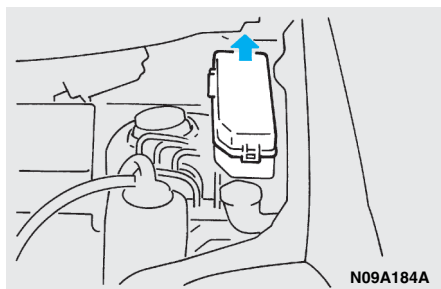
各種のランプがつかないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れている場合がありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

ヒューズボックスの位置

● 運転席足元

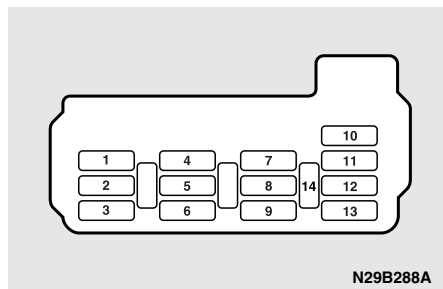
N09A183A

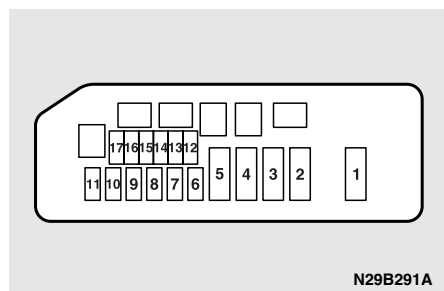
● エンジンルーム内

N09A184A

各ヒューズの受け持つ装備および容量

JN29BQUc

● 運転席足元

N29B288A

NO	表示	装備	容量
1		ドアロック	20A
2		ルームランプ	10A
3		ワイパー	15A
4		ヒーター	20A
5		アクセサリーソケット	15A
6		デフォッガー	15A
7		シガレットライター	15A
8		後退灯 （バックアップランプ）	10A
9		尾灯 （テールランプ）	10A
10	—	—	—
11		コントロールユニットリレー	10A
12		ラジオ	10A
13		メーター	10A
14	-	スペアヒューズ	20A

● エンジンルーム内

NO	表示	装備	容量
1	ABS	ABS	60A
2		イグニッションスイッチ	40A
3		バッテリー	40A
4		ラジエーターファンモーター	30A
5		パワーウインドウ	30A
6		フロントフォグランプ	15A
7		エアコンコンプレッサー	15A
8		非常点滅灯	10A
9		エンジンコントロール	20A
10	STOP	制動灯（ストップランプ）	15A
11		室内灯 （ルームランプ）	10A
12		ホーン	10A
13		ヘッドライト（下向き）（左）	10A
14		ヘッドライト（下向き）（右）	10A
15		ヘッドライト（上向き）（左）	10A
16		ヘッドライト（上向き）（右）	10A
17		ラジオ	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

ヒューズの交換

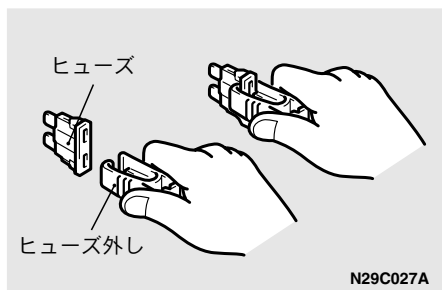
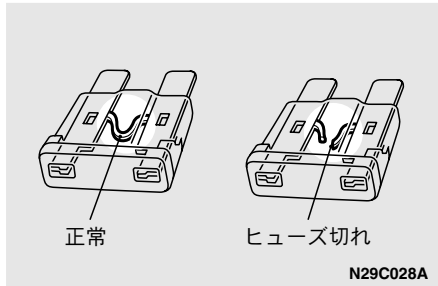
JN29CAC

1. エンジンスイッチを LOCK にします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。

→ P.12-23

アドバイス

● 各ヒューズの受け持つ装備，容量はヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使ってヒューズを引き抜きます。
（ヒューズ外しは運転席足元のヒューズボックスの中に入っています。）

4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。緊急でスペアヒューズがない場合は，運転に影響のないラジオやシガレットライターなどのヒューズを代用してください。
なお，ヒューズを代用したときはなるべく早く新しいヒューズを補給してください。

⚠警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると電線の過熱で火災のおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられますのですみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

サービスデータ

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

JQ11AZQ

項 目	容 量	使 用 銘 柄
燃 料	約 30L	無鉛レギュラーガソリン • 燃料は指定されたものを補給してください。 → P.2-5

13

<table>
<tr><th>項 目</th><th>容 量</th><th>使 用 銘 柄</th></tr>
<tr><td>エンジン
オイル</td><td>約 3.2L
(オイル
フィルター内
約 0.2L を含む)</td><td>
<table>
<tr><th>三菱自動車純正銘柄</th><th>API 分類</th><th>ILSAC
規格</th><th>SAE
粘度番号</th></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SM エコ</td><td>SM</td><td>GF-4</td><td>0W-20</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイヤクイーン SM</td><td>SM</td><td rowspan="2">GF-4</td><td>5W-30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SL スーパー</td><td>SL 相当</td><td>—</td><td>5W-20
10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン SJ</td><td>SJ 相当 /CF</td><td>—</td><td>10W-30</td></tr>
</table>
エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。
-30 -20 -10 0 10 20 30 40 ℃
SAE 10W-30
SAE 0W-20,5W-20,5W-30
AAM007228

アドバイス
● 0W-20 は最も省燃費性に優れたオイルです。
● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は，通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早目に交換してください。
</td></tr>
</table>

項目		容量	使用銘柄
マニュアルトランスミッションオイル	2WD 車	約 2.2L	三菱純正ダイヤクイーン ニューマルチギヤオイル SAE 75W-80 (GL-3) または 三菱純正ダイヤクイーン マルチギヤオイル 75W-85W (GL-4)
	4WD 車	約 2.9L ＊[1]	
オートマチックトランスミッションオイル	2WD 車	約 4.0L	三菱純正ダイヤクイーン ATF　SP III
	4WD 車	約 4.5L ＊[1]	
リヤディファレンシャルオイル		約 0.8L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル（GL-5）SAE90
ウォッシャー液		約 1.7L	三菱純正ダイヤクイーン ウインドウウォッシャー液
ブレーキ液		所要	三菱純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー 4（DOT4）
パワーステアリングオイル		約 0.65L	三菱純正ダイヤクイーン パワステフルード
冷却水		約 4.0L ＊[2]	三菱純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント

＊[1]: トランスファオイルを含む

＊[2]: コンデンスタンク内約 0.6L を含む

2WD 車 : 前輪駆動車

4WD 車 : 4 輪駆動車

サービスデータ

項 目		サービスデータ
点火プラグ	使用銘柄	NGK: 日本特殊陶業製 . . . . ZFR5F-11 NGK: 日本特殊陶業製 . . . . ZFR6F-11 DENSO: デンソー製 . . . . .KJ16CR-U11 DENSO: デンソー製 KJ20CR-U11
	電極部のすきま	1.0 ～ 1.1mm

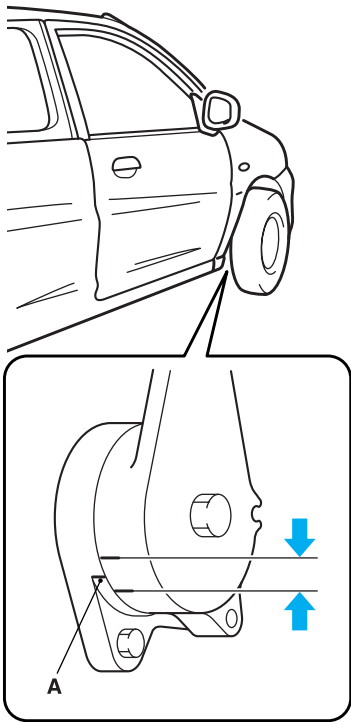
• 点火プラグの交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

項 目			形 式
バッテリー	2WD 車	除く，寒冷地仕様車	34B19L
		寒冷地仕様車	42B19L
	4WD 車		42B19L

⚠警告

● バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
● バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

アドバイス

● バッテリー交換後は，エンジンの電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。→「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！」P.12-22
● バッテリー交換後は，お客様が設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

項 目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3 ～ 8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま （踏力 約 500N｛約 50kgf｝）	75mm 以上
クラッチペダル	遊び	15 ～ 20mm
	切れたときの床板とのすきま	80mm 以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力 約 200N｛約 20kgf｝）	5 ～ 7 ノッチ

<table>
<tr><td rowspan="3">ランプ</td><td>車外照明</td><td>ヘッドライト［前照灯］. . . . . 60/55W（H4）
車幅灯［ヘッドライト内蔵］. . . . . 5W（W5W）
制動灯 / 尾灯. . . . . 21/5W（P21/5W）
後退灯. . . . . 16W（W16W）
方向指示灯
フロント. . . . . 21W（P21W）
サイド . . . . 5W（W5W）
リヤ . . . . 21W（P21W）
番号灯. . . . . 5W（W5W）
ハイマウントストップランプ タイプ別装備
. . . . 5W（W5W）× 4

（ ）内は，バルブの型式を示しています。</td></tr>
<tr><td>車内照明</td><td>ルームランプ［室内灯］. . . . . .8W</td></tr>
<tr><td colspan="2">アドバイス
●電球を交換するときは，必ず同じワット（W）数，同じ電球色のものを使用してください。</td></tr>
</table>

13

サービスデータ

項 目	サービスデータ	
ベルトのたわみ量	A AFM000660	インジケーター（A）が範囲内にあること

タイヤとホイールのサイズ

JQ12AQZ

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4 輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。
- タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

● 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

● 4WD 車は 4 輪に駆動力がかかるため必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および磨耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や磨耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。

● ホイールは，リムサイズやオフセット量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

タイヤ	ホイール
145/80R12 74S	12 × 4.00B（46mm）［100mm］4 穴
155/70R13 75S	13 × 4.00B（46mm）［100mm］4 穴

（ ）内は，オフセット量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
［ ］内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）
冬用タイヤなどについても表中サイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

JM13BQY

単位：kPa ｛kgf/cm^2｝

タイヤサイズ			空気圧
標準タイヤ	145/80R12　74S		230 ｛2. 3｝
	155/70R13　75S		220 ｛2. 2｝
応急用タイヤ	2WD 車	T105/80D13	420 ｛4. 2｝
	4WD 車	T115/70D14	

さくいん

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。

経済走行のために

JC19A-Lb

- ムダな荷物を載せないように心掛けましょう。
- 空ぶかしはつつしみましょう。
- 急発進，急加速は避けましょう。
- スピードに応じた正しい変速を行いましょう。
- できるだけ一定のスピードで運転しましょう。
- 長い間，車を止めるときはエンジンを止めましょう。
- タイヤの空気圧は規定の空気圧に調整しましょう。
- エアコンは冷やしすぎに注意して適温を心がけましょう。

純正部品のおすすめ

JB05A-IB

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は弊社の新車に使われているものと同じ部品で，きびしい検査に合格し，その品質が保証されています。また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地をいつも維持していただくために，点検，交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは

JB13A-AB

あわてずにつぎの処置をしてください。

1. 続発事故防止
2. 負傷者の救護
3. 警察への届け出
4. 相手方の確認とメモ
   （氏名，住所，電話番号）
5. ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。